Control of the Contro

帮于 活 年

言文一 **増訂合聲簡字譜序**

無幾略加增改卽能相通不揣固陋與二三同志考訂商 萬人明效大驗彰彰可據吾南省不可不急起直追以期 推於其原定五十音母加六字為五十六母於其原定七 企及也顧其書專用京音南方有不盡相同之處然所差 報陸續推廣於各州縣今已有塾數十處識此字者已數 則甯屬各府州縣及皖屬各處語音相近之處皆可通行 氏於前數年撰官話合聲字母設塾於都城直省並出書 喉音加三字為十五韻於其點發四聲加一入聲之號 一致為教育普及之大原此寰宇之通理也甯河王

一矩齋所學

一里丁子华爾子曾序

光緒三十 因先將甯屬等處通行之母韻列爲此譜以備學堂之 通行矣今經兩江學務處陳諸督帥令於莆省開設摩 金陵寓齋 再加七母三韻一 編蘇浙通用之譜以冀推廣於蘇屬及吾浙 一年歳次乙巳秋八月桐郷券乃宣玉 井古との産のアンス 獨音之號則蘇屬及斯魯等處

增訂合聲簡字譜例言

原本五十音母為京音而設京音輕齒母之齊齒撮口呼

與牙音無異故用上サメアサノ六母已足南音則不 能不分故於牙音之外別增輕齒音夕ヨア且勿入六

母以配之共為五十六母

原本十二喉音即韻也以韻皆收於喉故名之曰喉音北 音元寒刪先覃鹽咸韻之字收音俱相同用一 一韻已

足南音則如關與官閒與堅之類收聲俱不同而官與

堅又不同故於一韻外増一ノ韻一多韻又江甯揚州

等處有穿鼻一音其音如蘇州音之吳字復增一 五韻 一門门合導衛子臂用旨 死 齊 所 學

.

兩層對列而後二字及新增之三字則各獨為一

示區別

次列四聲於各韻之下分左上上平左下下平右上上

下去加點為號而於有入聲之了\一フ四韻各增

入聲 加撇於右為號

母韻聲之後列合聲全譜橫列喉音及五十六母喉音縱

列十五韻餘縱列十四韻每母又橫列四聲合母韻聲

而成 字共三千四百八十字而人口中之音全矣?

開

雪丁全華節其雪州語

矩齋所學

合聲後 母皆直喉支微齊魚虞韻此韻之字即用母字加四聲之 盡合本音其合本音者不再加音卽讀本字之音不合 字下註所借本字以便識字者易記惟所借之字不能 號即成 本音者再 用韻字加 四聲則有此音之字者註於下無此音之字者關於 可按所加音切讀之五十六母十五韻逐字皆加音 排即母不拼韻之字首五行即韻不拼母之字也 列母韻聲音註此字本假借舊字減筆而成於每 加音於其下有字者用字無字者用反切讀 字無須拼韻韻皆喉音影喻毋此毋之字即 四聲之號卽成一字無須拼母合聲譜中

可以類推而得也

學此字者先將母韻七十 字及四聲記號認記純熟再

學合聲合聲之法以一母 韻連呼之緩呼則爲兩音

急呼則成一字學者於合聲譜內任擇幾行讀之讀至

極熟則他行不必學而自能呼出如是則合成之字可 **望而識而亦能自合為字矣其分日教授次序列於**

後

教授次序後錄

聖諭十六條及小兒語數則各註合聲字於旁以示用法 後列雜識數條於方音之不同讀法之互異用法之變通 ~ 留了子等衛子普列自 矩齊所以

語言畫 言畫 申 處語言初未畫 話原譜 語以有簡筆字為之基也至魯至道難易判然今於官 語音皆能以聲狀出於學官話至為易易是相反而適 閱官話各書報自能收事半功倍之效 相反不知此字之長專在肖聲先通此字則無論何等 明其說俾習者有所依據 相成也俟此字本地語音習熟後卽當教以京音使 與文字簡易皆爲中國今日當務之急然欲語 必先以文字簡易為始基日本先有假名而各 別增母韻符號以合南音似於語言畫一 一生言 後設國語科一 Will Brown 旦而通國皆曉東京 之道

聖諭小兒語旁所註合聲肯以江甯音為主各處方音不 是編母韻所註音切及 國書及音韻闡微尤爲典要切當今定其名日簡字亦日 日本省筆字名日片假名平假名朝鮮省筆字名日諺文 聲簡字譜有未當者望當代通人教正之 聲二字出於 合聲寫字是編本於原書而增訂之即名之爲增訂合 稱官話字母或稱合聲字母拼音字母叉質言之日省 筆字案字母之稱不能賅括韻與聲合聲即拼音而合 中國此種省筆字亦應定一名稱以便於用原書中或

矩鷹所里

一一門行合聲簡子普列言。四四

					តា	番	FH.	292	
					可也	重複但旣為方音所無即可不用聽其重	用惟一	甯一處凡甯屬各郡邑及皖省語音相	堂
						伯	1924	處	當依江甯音求之至所列母韻之用則
,				<u> </u>		魠	一處方音於此譜母韻不能皆備方	Æ	江
						爲	方	甯	窜
						方	音	屬	音
						育	於	各	求
<u> </u>						所	此	郡	Z
					<u> </u>	311	晋	色	至
		}		}		間	世	及	所
			1		ļ i	Pj	頭	玩	列回
				1		田田	合に	五	呼將
						腫	告	产	服サ
٠.	-					其	備	相	用
						重	ח	沂	則
,	}					里複	音	近諸處皆	不
*	}					以存	所	處	僅固
÷ 1			. !			存	無	皆	囿
1.47						其	即	可	於
	14					枢	似	通	11

	十五韻	ナ	以	マチシ	之水寸日	サタレイ	七十十	く五于	五十六母	增訂合聲簡字譜
当了合学館子曾	四聲		トオオ	タヨア	ナ カヤハ	セジムヒ	上廿人			合聲簡字譜
圣朝 之 普				ニアク		ナ土七又	おりる			
÷.	•			卫 勿	•	口女	アツリ			
矩齋所學				ス			1			

	上上上上、	ユ
	ラ ラブス	3
	ソノアス	7
	ルルルル	ル
	11.71	
デアゲー	, 1, 1, 1,	L
کت دیگات لہر	としてして	乙丁
	いいいい)
フフブスブ	ンし、一つつ	フ
ביכ כיג כ	からでいる	31
·	力 一日一下産るりに、一日	

			ζ			-			合聲
くばれ、にはいいればればいいいいい	ぐばいけけばけばばけばれば	くないといいいいいいいいいいいい	人行八十分的引人九门行此八八八	なとつブ	<u> </u>	ゴンニ	こんに	ブンド	
八にないいいにはい	けいいに	ひいいい	ひ ひ ひ な	フ	ストースよしなるったいん	ずい 一ブリー ひ 丁 一 に て ル	スハーフリースコアレハル	さん フリーと ファー してル	
字質にし、八	びいいい	ひといいい	ひしせん		.ユー, ユン	ゴブニン	コニュン	アパーノ	*
ルニタ	び口げ	小口は	ιι □ 3		ルノス	パノブ	ルノノラ	ルンタ	
漸斯學		•			عر	2	7	2	44 24 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14

A CONTRACT TO A CONTRACT OF THE CONTRACT OF TH	, 于我我,我我我我我我我我们我	ガガガ	れたわれまれ	于 于打孔升的刊和打印孔孔机口的	业 奶奶如 "	打山山	好 好 好 好 好 好 好 好 此	山加	五 五出到此的出现的出现的出现的	_	F
The state of the state of											*

一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	· 从好机状好机机机机大机机机机	口人为大市大小的大小大小大小大	工程的中国的工程的工程的工程	十 日本孔中的印印和印和北外和印	せなせない ~*	七、なれ、かななれなないないないとい	そながいなけれなけれななない口	大はなななけばななかがない	七 とおがかかけがかがかがない	手移刊わ
為所學	e e e e e e e e e e e e e e e e e e e									

|--|

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	人、以人、大以人人以人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	义对以人对以以以以以以以以	大水从水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	又 义以八处为以以此为如此入	サや代わり	十、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹、竹	机和时刊打机打打批	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	十 件形形斗的形形的和形形	上が北かり
肾 · 四		<i>7</i> k				#7	北北	北北	州机州机口的	

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
111111111111111111111111111111111111

矩齊所屬

うな外外外外外の対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が	· 好好我好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好好	少
---	---	---

以 日子 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	生好此中切出的打打北北北北北	· · · · · · · · · ·	牛 牛牧州外的判犯的外州外州	七杉化七七	生好我也也也也也也也也也也也也也也也也是一	+的代十切りりていて 七七七七七七	けれれたわれれれれれれれれれり口	十 计时代中切时时也的形化的形口	かな人がな
學					_			.	

イでは、一大では、一大では、一大では、一大では、一大では、一大では、一大では、一大	と、ほれにはいいない。 にいいいいにはいいにはいいにはいいないにはいいにいいいいいし しょいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	レル内以下的川川の川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川
---	---	---

|--|

|--|

V. 12	上,打,九	土灯灯灯	土北北	土土出北北	カがれた	ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ・ナ・ナ・ナ・ナ	ナガガル	ナガバナ	ナナガれたか	日不以
「宮丁」「金井町三山田	打、大大大人、九九九七九八九八九九八九八九八九八九八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十	打划打打打打打打打打打打打打	土好找大切打打打打打打打打打打打打打	封我出到到出北到出北北	ナル	、カルカれれがたれ、か、か、カ	ナガパナガガガれガガガルがが	たかれれれれたれ	カガガガれガガ九	572
年 第 所 學	式, 切, 切, 口	北 城 切口		扒		、八、ル、カロ	たがけ口	ハかかり口	ナルカカロ	

ステステステ セッセ・セー と と		2			又					七		
	A STATE OF THE STA	スススススススススススススススススススススススススススススススススススススス	双式エヌススススススススス	以入了以外以及以外以外以	2八八 以外	なとかなった	とれたとととといれたとれていれたと	とれたかりとれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれ	以外人人力以上人口心也不知	出以上切出出出的知此私的	おおかお	

N 好奴奴以如,如,如,如,如,如,如,如,如,如,如,如,如,如,如,如,如,如,如	好以一切到到好好好好好!	幻か外へ	女、女好外好好好好好好好好好好	ゆいいつい	只可以下 可则见可以	可可以	可见可以以	p)	又な以及又
il i			外 処□好		N. 山 马	以川の	八明口吗	N. 山马	

The state of the s	北京, 水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	不用水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	,况此水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	府前他的市	到一只到到我到到我们	公立之 打到 五世紀	公司公司到到到到公司	27	女好対対が	ナマドノーガー・コド
	€SC _A									

一 一 一	月时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时时	自用形品的明的的可能的形形	月的則則則則則則則則則則則	日百的的印的印的印印印印的印印	むお找わむ	されれ、おおおおおおおおかが、一	4 ' -	うなはなななはなななななかかい	す されれかかかがれかれがかい	心心心心心	
-------	---	---------------	---------------	-----------------	-------	------------------	--------------	-----------------	-----------------	-------	--

サナガれたけがががかれたれががり カスススステンカリカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ
--

	/智丁合擎衛子曹 上 矩齊所與	ハスス、スススス、ススス、ススス、ススススススススススススススススススススス	スパストカガイルガイルバルツロ	ハバハハハハハハハハハハハハ	x スパスペッカリカルカルルルルルリ	もが代わり	れれれたわれれれれれれれれれいり	やおれたかかれたかれれれががり口	ナなれたわわれたわたれたがかり	中中村刊竹村村村村村村村村村村村	刀乃八刀刀	
--	-----------------	--	-----------------	----------------	--------------------	-------	------------------	------------------	-----------------	------------------	-------	--

ママスペンツッツッツマスママスママスママスママスママスママスママスマスマスマスマスマスマス

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	久好外外好好好如何好好好	夕好好如好好好好好好好好!	夕好外外外外外外外外外外外	夕 少好外外奶奶奶奶好外外奶	当好处少好	女好此女好到到到好好处处以以	至好处好到到到到好好处就到	是好以知到到犯到 如此以此到	至 经就处的到到犯到外处处外	もおれわわ
士 矩 縣 所 學		が□ 好		加口奶		纵以口	如沙山	如少口	外外公口	

 大八八、	プパパ	ブスス	ア ケガハ、	马马式	可以到	当代	司、武司、司、司、司、司、司、司、司、司、司、司、司、司、司、司、司、司、司、	3 当的礼	夕好外か	
スパれ、た、パパパれ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、	パパププリリれガプルパパ	パパたかれれれれなれない	た力力力九九九九九九九	37.	八十四月月九四十五八八	到 三 到 到 到 到 到 到 五 五 五 元	具取乳中町到到那町町町町外	羽乳子的引引乳的野乳乳乳	タッタル	土 当事ノ下を生むりた、土耳
	ハがロガ	ひか口 ぴ	八九口乃		N. N. 口 以	玉	小利口形	扒 卯 □ ��		711

**

官丁合學育字曹 上 矩僚师	たびれ、たびれれれれていた。 たいれ、たびれれれれれれれれれる。	上が なた ない れい 	アーアパパルのパパルカルルパパルロー	ラマシング	二二八八二八八八二二十八八八八八二	二方式二寸可引之可引工以引力口	ニスペーヤリリスコマルションロ	二二二八八二的引引礼司二八八八八八	万が八かな
齋 野									

	THE RESIDENCE CALL SAME CA	TINITIAN TON TON TON TON TON TON TON TON TON TO	11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年	可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可可	クグパクク	シー	グググクケグバ	クパハケクハハハハハハハハハリ	ククハ外外の外外外外外外外外外外外外外	アパアア アパアア	1
--	--	---	---	---	-------	----	---------	-----------------	---------------------	--------------	---

	ス		カ・
八大スススススススススススススススススススススススススススススススススススス	八六刀刀刀刀刀刀刀大刀八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	のが外がかがかがかがかがかがかがかがかがかがかがかがかがかがかがかがかがかがかが	外分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分
州			

			文					又		
友好处人,以及人,人,人,人,人,人,人,人,人,人,人,人,人,人,人,人,人,人,	父好处好好好好好好好好好好好好	这好以外的知知如此外外的四方	为好处处的别处的好处处外的一场	と ない	从以外,大好以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以以	义、好以外对对对人们的对众人们的	为以为为为为为为为为为为为	为对外处处的人的人的人的人	スなれなな	THE NEW YORK OF THE PARTY OF TH

一 一 一 一 一 年 一 年 三 年 三 年 三 年 三 年 三 5	トは八、たびりはなりによいが、人口	下的八十万万万亿万万元以外以	上に以に切りににいいによりがと口	下 下內凡戶沙門門內內戶礼內的少口	十七七七七七	十九九十九九九九九九九九八九八九八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	十方代やりが打だれが形がい口が	ナなれたわりがれたなれれいい口も	十十十十八十七十十七十七十七十七十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	头好戏知知
争						!				c

オポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポポ	おれ、たわれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれ	す キおれたわわれれれれれれれれがり レドルファ
---	--	--------------------------

坦齊所學	1.1	ですて行権方式とは	
		サ其夢	上基 井其
		飯・禾鰈	七 戈騙 十科師 十天縣
		五五鳥于于迂	く衣土五五
		註	五十六母音註
		方科找 打 対 お	ま 担
	扒扒 払口	夫打九六九九九九九九九九九九九九九九	大打
	が が が り 口	并打打打打打打打打打打打	ずだ
	れれ シロ	步 招 我 大	ナ お
	判判り	子打判此利利利打打打扎打机	声 步
		おおれわね こうしょう	ずね
100			

夕祭鷹 3 妻 下西 ・徳 4 特 レ勒 1 詢 ・徳 4 特 レ勒 1 詢 ・ 他 に 5 題 構 4 離 職 に 尼 妃 ・ と 之 ル 遅 瀬 古 詩 日 日 謝 ・ 大 の 初 櫃 中 書 へ 入 鳥 ・ 下 の が 櫃 中 書 へ 入 鳥
--

チ 必越又皮披十米跳 時全作清平讀之惟+サレイ四母南音讀平聲不便 右五十六母各註所取偏旁原字於下於所讀之音與 咀 租 可作入聲讀之其七リす三母江甯音可讀平聲他處 之相同者即讀其字之音不再加註其所讀之音與之 逋 同者再加一音於又下無字可音者註反切兩字 力趨 撲簫 龘 12 曾丁今季衛子普 才木林 ス 須 蘇 } 矩齋所 讀

7 京	VI CT LOT	無此音讀作	十五韻音註	7 阿	、 我	一。泉	フ危郷	豪塵	區級	乙亢映	了翁轭
財産では、対策では、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対し、対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	t')	入	四聲音	·3 幸啊	入舸	京	゚゚゚゙゙フ) 麈	`` 歐	之映	`1
決偶後、上、次の人、なり、金峰の大き	可可以	克黑司	註	了 下平	、一人做	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	フ) 敖	.1	、乙,昂	1
盎嶇奥	1	也		マ 上	V	一矮	ブ) 神 -	l` 偶	び決	j `
	1 1			去去	٧.	一、愛	ス)、 奥	傴	乙、盎	٦,
ア つ くる 厄				弘 入	と夢	ーノ 劉	ル 厄				

與之不同者再	音與之相	右上列士	ン呉蘇音	3	ン安南音	ノ し 兒	爺额	上思	7 安北普
者再加一音於又下	同者	五韻各計	江	う 煙	ソ	儿	~	上思	安
音於	頃其字	註所取筆	卢	·3。	Į	ル 見	Ņ	Ļ	77
文 普 無 字	即讀其字之音不再	筆畫之原字	立	了便	ノ	ル耳	`	Ľ	一階
丁可音者		原字於下	그	3、	ス	ار - -	,	L,	一. 按
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	加註其所讀之音	於下於所讀之		¢.				36 yes 46	

當 如 翁 讀如裏下河等處安字之音 稱之音 不能讀卽讀爺字埣韻 爲北音安字江甯音安字相 點於左 開口呼 濁平 之音有清平 下列 四聲前 有 音應諾之聲如不能讀即讀 濁平讀 蘇州音之吳字如 、韻讀爺字之 聲 列上 同ノ 全作 列上平 **宰加** 平下 餔 **清平讀之**了 加 爲南音安 點於 點於 翁字 平平

一人自丁合学廟子曾	タルす日 ナカヤス	第四日認字母八字	125人比 十土七又 口女	第三日認字母十字	オリイ アゲン サキレイ	第一日認字母十字仍帶温前認之字明後每	人立于 七川本 上什人	第一日認字母九字	教授次序	無此字者不註可以類推而得也
た 年 か か か か 単						一片,是一片,一片,一片,一片,一片,一片,一片,一片,一片,一片,一片,一片,一片,一				

3333 とに上上	へへべ、 ルルバル、 ソノノノ	第十二日認四聲二十字	ブラブ ハ ハ ハ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	リリナル、リリール、としてし、	第十一日認四聲二十四字	フフブスプ	プログスプレン メーハー・ア	其記號使其自呼少下同	第十日認四聲二十字教以上平下平上去入聲之音並	
-----------	-----------------	------------	---	------------------------	-------------	-------	----------------	------------	------------------------	--

試呼未讀之行如能呼出則屢試之未能呼出者教之 入各行不厭多讀以極熟爲度 四日讀合聲譜中十母十母各 五日於乏ルす日 以後諸母中任擇 呼出爲度 令其自拼自寫不能者教之 有誤者正之 句漸增至 讀數行並合

一個八分學寫字普	篤宗族以昭雍穆	カコワぐ到打も	敦孝弟以重人倫	九以らく打りむ	聖諭十六條	北、まむちり	認字拼音之外並令寫字一兩張	紅色令其描寫次以合成之字刻印黑色令其映寫每7	不能寫字者須教以寫字先以母韻聲字	句以至多句自此以後每日習練人之則自能習熟矣
普三三年齋斯學						X 0.5	張	刻印黑色令其映寫每日	一毋韻聲字寫成影本刻印	原來外之則自能習熟矣

	點異端以崇正學	乃くかぐ八九八	隆學校以端士習	灯外外ぐから、万	尚節儉以惜財用	れ、切らく万十十	重農桑以足衣食	打、双化ぐってす	和鄉黨以息爭訟	私地化い万九二	ナンコーノーディなした
	<u>*</u>										1月1年ルル コロ
とう とうてん こうかん かんかん あいます	V 4-										*-1ff1
September 1997 - 1985			÷.v.								

一門丁合华南子普	息誣告以全善良	アナなぐがれい	訓子弟以禁非為	ルマスとより却	務本業以定民志	立になくれれる	明禮讓以厚風俗	九公にで引力力	講法律以僘愚頑	比杉中ぐ北于六
1111										
矩齋所學				•						

	がルチが、一旦、一旦、一旦、一旦、一旦、一旦、一旦、一旦、一旦、一旦、一旦、一旦、一旦、
	り が が り が り り り り り り り り り り り り り
	かおなぐ北戸川誠匿逃以免株連
. 1111	アン・アードー 一月一年レベー・一日

-						• •				
	既做生人	上二、弘儿	我打人還	心村非分	要成好人	小小打印	沈靜立身	ル外ム北	一切言動	とおけれ
門門子及	便有生理	及行外公	自打幾下	スガ上が	須尋好友	ス非打げ	從容說話	门打代行	都要安詳	ナリコ平
丁含峰簡字普	箇箇安閒	れれられ	我罵人還	じれりい	引酵若酸	なり、我か	不要輕薄	とまって	十差九錯	古的ゴバ
三 矩瘤	誰養活你	切化化ビ	換口自馬	いれてれ	那得甜酒	行物好外	惹人笑罵	11 即刀杠	只為慌張	父奴允允
矩齋所學					1	1				

聖諭十六條為文言小兒語為俗語各	以上	話少不如話好	びがとみびが	使他不辨不難 要他心上無言	古物中级中仁 以的礼机五人	跨 甚尚書閣老	的我机中我们·	為人若肯學好 羞甚擔柴賣草	如非我化外打 月机们加大打	十二十八年五年八二百
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一				話多不如話少	は、ガヤへがが			爲人若不學好	如此我少八打	1111

拼音之用學者可以隅反

雜讖

今此谱 官話原譜 ·重闕者無此音者也重者兩音不能分別者也習者 不能不兼爲各屬計故所列母韻於各處土音有關 欲 包 專主京音其母韻但 括江安各屬土 一音雖 取周於京音之用而已 以江 审音為主 M 增訂 足 미

甚相遠之處彼此可以互通不致專爲一 隅土音所囿

聽其闕與重然不可不知其理存其位庶語音不同而

用時隨便亦無不 陵口育 レ與イム與ヒロ與女皆不分 乙與一亦不

7.曾订合学톍字普

可然不如各從其類為善習者宜悉心 冒 矩齋所學

生草 不道一年 二十年

體會 當 知其 別之 理

中 列 微 魚 韻以字母 此 數韻 可不

開 諸 冊 惟 久 ル वं H マ干 幺 歯音數母用支 韻

韻 鬲師 彼 切 母 給 無支韻字也然金陵語 **八之給讀鬲** 史 切為牙音支 膈肢

母為 無支韻之母 爾當 讀 為 則 切 字 師 切克 故 金 切黑 **陵語應** 讀 備 七 膈 給

諸

北等 處 無 則 拼 膈 給等字之音 韻 p 也 則當讀

字之用其江

與 不同 而 金 陵皆讀 爲關

於人 **シニ厂ク金陵分而揚州不分江安各屬或分或不分各** 便然總以心 知其故為尤善 不相同其向有分別者自當分用其向無分別者可以隨 同 陵自稱之吾字其音穿鼻而出如蘇州語之吳字如吾 **サメアサン與タヨアロクス そルすすカヤ與マモ** 字髮字之類金陵讀為~韻揚州則不同即 聲有マペープ四韻金陵音無つ韻揚州等處有之如 領揚州音則須再増一ノ韻也 而金陵皆讀爲堅關與間皆收聲於つ韻而官則收聲 韻堅則收聲於ろ韻故金陵音祇須於つ 「智」子等的に当 莹 矩齋所 つ韻也 韻外增

字之音此字但有喉音不能拼母故合聲譜中但於首四 類無此音不能備土語之用故增一之韻讀如蘇州語吳 **筝吾媽之類揚州亦同此音而讀為上聲如吾家你家之** 当古人産物与言

聲譜中以兒字一律拼韻與京音作三拼者不同其金陵 京語連兒字之音其字本音之韻仍在而下連一兒字如 連續則爲外不復存了字之韻他如盤兒作机碟兒作小 連兒字之音則即以兒爲韻而其字之本韻不見如三兒 行牍音之末列此四字餘母皆不用 鐘兒作

北碗兒作

坑之類皆

成兒韻

不復存其

本韻故
合 二見連續則爲允雖帶兒字而一字之韻仍在也金陵語

以外如江北等處則無此音凡連兒字者皆分開作兩方

讀亦無京語三拼之音也

江北裏下河各屬去聲入聲皆有濁音如共字旣與頁字

不同亦與控字不同及字旣與急字不同亦與泣字不同

地字旣與帝字不同亦與替字不同仗字旣與帳字不同

皆濁音也此譜無濁音之母無字可拼當於くユチリす 亦與暢字不同便字旣與變字不同亦與片字不同之類

サメリう サンキレエルす カヤモショー 厂ククスタ

オナ等母各加 一點於左旁爲濁音之號爲拼燭音去入

聲之用舉例如左

当了了全衛空哨

太	ंऽ	1		H	†	ዛ	于	九	٠ ٧	
羽掘	公會			i !	中不輸	州へ 健	・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	五	人、異	
乃橘	5 2 期	り貢	从孝	上記	ヤ 英	ヤ 概	于、	五 掲	く、意	
- 多居		収控		大器		竹菜				j
										, , , ,
	Ž.									

	,衣	Ŧ	†	A	す	小厂	土	L	牛	1
	义。	千)、	中間	双、	は、事	姚仗	刘	火 地	针 但	沙芬
/曾丁二	幺、四	₹). 竈	た成	t 著	が試	丝 帳	ナ ₁ 東	た。帝	라 っ 日	クス約
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		7) 操		双處	,	ル、暢	扫漏	エ、 替	ヤ: 炭	
普						i]
Ē										
矩齋所學										

	ナ	₹	入	ス	力	ク	厂	ア	3	
右第一字為濁音第二字第二字皆清音裏下河等處	找	朱步	划別	スろ鏇	勿、 聚	外俗	アし、座	ァl、 社	'37,截	
 	光 福	た布	处整	スえ選	卫足	火 粟	上、佐	ア、秀	97	1
二字第		オー	が搬		ク、趣		八剉		切切	
三字皆										
清音裏										
河等虐								-		

善也 韻學藩籬則恐尙未易領會故欲學此字者總以口授為 求明顯在素嘗究心等韻之學者自可 此母韻口授極易而形諸筆墨則極不易達譜中諸說力 各處方音如偶有特別之音為譜所未備者不妨於譜外 餘可類推 諸處遇濁音諸字當加 語音三者皆不同在無濁音之處寶第一 相同而聽裏下河人讀第 三字相近其實與第三字亦不同也几裏下河有濁音 點於左旁以別之此舉其處 字於有三字之行似與第 目了然若未涉 字與第二

Ē

矩齋所學

此變不離宗之要義也 別增之但原譜不可輕動乃不致於普通之用有所損礙

音韻之理以母韻聲三者為大綱而其中有喉鼻舌齒

唇

之分重輕清濁陰陽之判四類四等之殊條理至爲精密

論而其理則仍相貫通不差絫柔生徒學此簡字但期應 是編為教育普及計但求其易學易解此等精微皆證不 用原可不必深求而好學深思之士則不可不知其源

其習為師範者將為人師非心知其故無以應答生徒尤

此學者可於彼書求之

不可不求甚解鄙人別有等韻

得

一編言此甚詳欲明

66

重訂合聲簡字譜序

中國文字淵懿浩博其義蘊之精深功用之閔遠爲環球 之利器我中國數百兆凡民欲令普受教育非學步之不 文與言 所莫及顧學之甚難非淺嘗所能捷獲故但能教秀民而 可甯河王氏於前薂年 創拼音官話字母定為毋五十韻 **小能教凡民天下秀民少而凡民多此教育之所以不易 教能言者卽能文故人人能識字實爲教凡民** 切音

八三丁了了年间上五五十

於京師保定天津等處推廣於山左右東三省風行極廣

一四聲之號四京師語音皆能該括設學堂及書報社

67

矩療所學

與二 於甯 學堂之用矣今復將所增蘇音母韻錄爲是編名之日 母三 相 及甯屬各郡縣並皖省語言相近諸處皆能 而 全且 近諸處皆能通行近陳諸江督建德尚書開簡字學堂 極速獨南省尚未之及緣其譜以京音爲主輕齒 一韻 省 | 簡字譜以備蘇屬及斨省之用他日 同志考訂商推增大母三韻 無人聲 濁音之號而蘇州及蘇屬各郡縣並斯省語言 將所增甯音母韻錄爲增 及吾浙億兆凡 1月百七屋原子龍月 無濁音於南音尚略有未備也不揣 民之幸也 訂 入聲 合聲簡字譜以 通行又 如能推廣 之號而 増 譾 江 輕 爲 重 唇

矩摩师學	1	国了全年前子町
	ĺ	
,		
	-	
	齋	九月桐鄉勞乃宣玉初甫序於金陵寓齋

				国台在屋作与商内
--	--	--	--	----------

重訂合聲簡字譜例言 原本五十音母為京音而設京音輕齒母之齊齒呼撮口 音重層開口與合口相近故祇用トキオ三母包括開 疑母亦包括在內吳音則別有疑母故增于五兩母京 非母開口齊齒故又増コで二母共為六十三母 合吳音則開口與合口迥殊故增重層開口了多叩三 六母以配之又京音疑喻無別故祇用く五子三母而 呼與牙音無異故用エサメアサク六母已足南音則 母京音輕脣僅一非母合口故祇用一夫母吳音則有 不能不分故於牙音之外別增輕齒音夕ヨ丁口勿ス 八重丁合擎前子背别言 一年齊所學

京音但有濁平而無濁上濁去甯音亦然有入聲亦無濁 原本十二喉音即韻也以韻皆收於喉故名之曰喉音北 。之音全矣 音元寒刪先覃鹽咸韻之字音倶相同用一 韻之字近乎陽而稍斂自爲 官與堅寒與延其收聲又不同故又增一ろ韻吳音庚 吳音則關與官鹹與寒不同故於一韻外增, 濁音之號卽讀爲濁母合之爲一百二十六母而掅濁 於毋今六十三母皆讀清音而於字母之左加 入吳音則平上去入皆有淸有濁而其淸濁之根則分 韻與陽庚皆不同陽韻 **〜 韻已足** 一ノ韻月 一點爲

原本點發四聲分上平下平上去而無入以北方語無人 是編首列六十三母原本五十母次序以脣爲始由外面 音及了し一つ四韻有入聲叉丁韻亦有入聲餘皆不 之字收聲亦有侈飲兩類故又增一丁韻又吳音吳字 各以開口齊齒合口撮口分列其為十九句以便易讀 用 聲也南方則有入聲今增 內而不分開齊合撮記誦不易今接喉牙舌齒脣之次 三韻合之共爲十八韻 你字姆字皆自為一音與各韻俱不同故又增之了子 / 直丁全华南字普川夸 一 撤為入聲之號惟字母本 矩齊所變

易記

編首所列六十三母皆讀清音又列六十三母於次而加 點於左旁為濁音之號皆讀濁音

次列十八韻原本十二韻分六行上下兩層對列但前十

字本是一陽一陰相對而後二字則非對今前十字仍

兩層對列而後二字及新增之六字則各獨爲一 示區別又其中ルムケ4四韻祇有喉音不能與各毋 一行以

拼合是為餘音故列之於末

次列四聲於各韻之下分左上上平左下下平右上上右 下去加點為號而於有入聲之了~一フ四韻及丁韻

母皆直喉支微齊魚虞韻此韻之字卽用母字加四聲之 母韻聲之後列合聲 合聲谱中凡無此音者列撮口諸母有ノ無多齊齒 四聲合母韻聲而成一 式不悖且使日後學官話閱官話書報仍無扞格也 列十八韻餘縱列士 兩行淸音有上平無下平故祇有左上之點濁音有 各增 平無上平故祇有左下之點所以不改原式者期於原 中之音全矣吳音 入聲 加 全譜橫列喉音及六十三母喉音縱 撇於右旁為號清濁各四聲並列為 十四韻 寶寒先韻 字共六千 每母一 一清一 字開口合口撮 百六十六字而 濁相次各横 = **矩齋所學** 開

用韻字加四聲之號卽成一字無須拼母合聲譜中 **須即成一** 字無須拼韻韻皆喉音影喻母此母之字卽 一直中小作的二三名

合聲後列母韻聲之音註此字本假借舊字滅筆而成於 每字下註所借本字以便識字者易記惟所借之字不 排卽母不拼韻之字首八行卽韻不拼母之字也

能盡合本音其合本音者不再加音卽讀其字之音不 合本音者再加音切於其下其讀法詳述於音註後

學此字者先將母韻八十一字及四聲記號濁音記號認

記純熟再學合聲合聲之法以一母一 則為兩音急呼卽成一字學者先讀冷聲譜內弋母諸 一韻連呼之緩呼

語言畫 教授次序後錄 聖諭十六條並吳門天足會勸放足歌 後列雜識數條於方音之不同讀法之互異用法之變涌 言畫 矣其分日教授次序列於母韻聲音註之後 呼出如是則合成之字可一望而識而亦能自合爲字 於其旁一爲文言 行復任擇幾行讀之讀至極熟則他行不必學而自能 申明其說俾習者有所依據 與文字簡易皆為中國今日當務之急然欲語 必先以文字簡易爲始基日本先有假名而各 /且丁子华·斯子·普利 m 一爲俗語皆以示用法也 則各註合聲字 ۵

是編為蘇屬各郡縣並浙省語言相近諸處而設母韻所 求之然必口授乃能無誤王氏原書有云勿泥於其註 註音釋皆以蘇州土音爲主他處觀此音釋當仿蘇音 閱官話各書報自能收事半功倍之效 語音皆能以聲狀出於學官話至為易易是相反而適 話原譜別增母韻記號以合南音似與語言畫一之道 語以有簡筆字為之基也至魯至道難易判然今於官 處語言初未畫一 以相成也俟此字本地語音智熟後卽當教以京音使 相反不知此字之長專在肖聲先通此字則無論何等 一後設國語科一旦而 P B 通國皆曉東京

國書及音韻闡微尤為典要切當今定其名日簡字亦曰 日本省筆字名日片假名平假名朝鮮省筆字名日諺文 拼音而合聲二字出於 筆字案字母之稱不能包括韻與聲似不賅備合聲卽 本處闕此音則不妨聽其重複此韻學家通例也 稱官話字母或稱合聲字母拼音字母叉質言之曰省 中國此種省筆字亦應定一名稱以便於用原書中或 蘇音有蘇無此音而他處有之者亦該括於內以備各 處之用大抵一處多不能全備各音關者每似重複如 字之聲總以口授為準洵篤論也但此母韻亦非專主 ī | 矩齊所學

	育字譜今叉重訂為吳音之譜因名之· 宇譜有未當者望當代通人教正之 字譜有未當者望當代通人教正之
--	--

	すし	十八韻	コでナ	万多中	マ千幺	泛州村田	ササルイ	大山十千	く 山 子	
3	3	四		义文十	タヨブ	オカナス	乙七公上	上十以		
いずふふ	ててなる	四聲		小オオ	ニアク		ナ土七ス	ガリグあ		產作年言
4.7.7.4	ציל כיל				业力ス			カ アツシ		
濁音	清音									

				っし	c	7]		ーフ
巨丁分學剪字普	1.1.1	イイイ	ここと	つづつ	乙乙乙、	乙乙乙、	いいい	1, 1,	レン・フ	ンー・フ
1 炬齋所學			九七七	、コンコ、	コヴュ	プププ	けん	`\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	フプスプ	'フプスプ

カンノノスシンシンス・シングス・シングス・シングス・シングス・シングス・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・

一年 一年 17 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	3 ペーク 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	なべ、ベスルトな、スペレン、大人	了い一ブリーむずっじっ丁ブル上がよ	マンーフリン ついし、 サソラル上かり	合聲	7年	4 4.4.4	ケケケ	ケケケケ	
こ 短鷹所學	ア	ノ、下人ろル、二、なり	ンナノブルビダリ	~ ケソラルユケリ						

ひれれればないといいいないないないないないないないないないないないないないないないないな		くとういういいたけいにいているのである。	
--	--	----------------------	--

	于、于疗	业业	上、过	近战	边边	北	立立		五五岁	
	刊	业	山	近	山山	近	拉	此上	拉	ンと
直丁	打打	功力	九八	山	山山山	力》	力、力、力、	封	一切山	17
ŕ	打扎	i		山门	山		山、	山山	山	
李的子	打打		立て	山	力丁		力】	力了	力	
山田	孔		业、	立	·五	:	丸 、	此此	丸	
74	7/	址	 山 山	山山	如如	址	虹 弘	加	功力	小小
1										
矩齋所學								1		

切切切切り	打八千分打打打机打六九八	我长打我打我的我我我打我我 我和我	刊, 大利, 刊刊, 刊刊, 刊刊, 刊刊, 刊刊, 刊刊, 刊刊, 刊刊, 刊刊, 刊	1月二日人下産年に、11日
-------	--------------	----------------------	--	---------------

日本中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中	中小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小	以, 小以以以, 以以, 以以, 以, 以, 以, 以, 以, 以, 以, 以, 以,	北山山山山山山山	北中的山北山山北北北北	七七七七	かれてなれれれないない	けれてければればければいけ	とれてなられていないないない	七が火かか
矩麝所學									

本村代本村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村村	11日八十戸 年日で、一日
--	---------------

|--|

打水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	才对对外对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对对
---------------------------------------	--

が水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	矩 齊 原
---------------------------------------	-------

好形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形	かけれたかかがれれれかれかかかかり	いいたかがいればいいかがいたががいたがいかがいればいいがいればいいがいればいいがいがいがいたがいがいたがいがいたががいたががいたがかがいたがかがいたがか
--	-------------------	--

形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形形

少好外外,一个好好,一个好好,一个好好,一个好好,一个好好,一个好好,一个好好,一

無 所 少

** ** ** ** ** ** * * * * * * * * * *	生 好物外外的外的物物的一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	かけいかいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	よびいたなりはなりたれたなり口 ずがれず中がずれれずれれずかり	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	かられたち	九切机机	ドドボドドガドがれただれれれたけり	The statement of the st
---------------------------------------	--	---	---	---------------------------------------	-------	------	--------------------------	--

	V		v	V	ماد				
シルルルルツ	いいいいい	いい	パパング	, VI	はつ	外外切	好水中切	小松松木打	中野牧物
汀合いりいいいいれ		况以	いいだい	门门比门		才外北,	出出出了	出出出出	
普にいいいい口	切	いい、八、「はい口	にに にげい口	い比八けり口	北	大生, 大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	*********	宋 外 外 打 打 上	绀 7
矩劑所學		•						L 1	

八川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川	がいいかりいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
---------------------------------------	---

	约氏仁的的日	マスマッ	以八八次四八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	びれたびいいれれいいれい	ひひひれれいれれれ	以つり	ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、ひ、	び以二	的我心却到到此的如此的	代わか
11	ロラ			ロガ	□ .23	•	口戏	ゴジ	沙沙	
矩窩所學	· ·									

北部以中的出出的日本	ビジンと	以下以以以以以以以以以以以以	おいないないと	以比约的自己的的比比的的	いないか	好人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	公が以いかいかいないかれなが口が	好以大切的知知如如小小	好以から
矩 齊所 學									

|--|

す ロ ロロロ	以此心切り山地地山地山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山	好比如切	坎山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、	好出上好出出出打出出北打	书出去出出出出去出出大打	おおかり	好找女女打打打打打大大大	找好好打打打打打好比找	找上均均均比均少此以均	パナカ
	七七日	过	土土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土	か北大けば	如此处打出	北	大北八 大大	扩北以; 打打	土北北大	ナブ

双孔,以双 双 以 双 九 九 九 九 九 九 双 双 双 双 双 双 双 双 双 双	スパ	对 八 九 力 以 列 丸 九 九 九 八 力 以	はいとか	好此去去上上上七十七十七十七	打出七切打打把打七七七人	七七七七七七七七七七七七七七七七七七七七七七七七十七七十七十七十七十七十七十	おとしな	好机大切以上人口大大大大	とおれていいいればいいればいり口	

											-
					口						
1.				د. ا				٠		ادسا	
	卫	12	D,	D,	D	メ		又	又	ヌ	
	127	03) 'B	23		汉子		·23	-	33	
	, E.J.	υX	7			1 -		\X\		双	
べ重	107	ロブ	叮叮	ロブロブ	מ'ם	マツ	メベ	以一	火	シ	
· 一门	10)	叨	以以	可	中山	37	2)	12	·X/	ヌフ	ŀ
4	四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四		口人	D),	2		スル	ス)、ス)	2)		
隆	PZ	 	叹	127	心心			汉辽	. •	ļ ļ	
笥	,בין		מי	可	!	İ	, ,	刘	(*		
产	.12-		12.		D'	†	•	スン	. • •		
普	IIL_		마	미	마		ì	·XL		! !	ı
ţ	T.		B	D.	p.			スペ	, -	[
1 3	PJ	pJ'	叮	nļ,	o'T	・スナ	, ,	i	汉丁	劝	
	2/		以	四/	4		・ス人	ッスノ	31		
E											I
V.											I
鬼			·								a a
第二								•			I
矩齋所學				İ		j		j			I
I			,,								1

少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、
--

「直丁今等節字曹、大	私心切的的配的私地私的	シャン	なんとんとんとととと	人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	公文之之之之之之人	£71	九、行奴刘礼礼,以公此人	行代行行行行行行行行行行行	我 於约约的紀约如此代	女好以女切
夫	心口	.¢1	\	ンジロ	マン マン ロ	11	赵人	マシー	は公口	文卫
矩 齋所學	7									

					' 13					
Ħ	山	日	日、	日	B	す	す	ず	讨	す
	1.11.3	日子	日3	日了	1 E/Z	・ナン	13	13	いまて	打
	/E	为日	B	JE	JE!	ソセ	jţ	北北	47	北
	一片	ロブ	出一、	月一	87-	ナナツ	すー	13-	ブー	ナツ
Ħ	刊了	印	以	时	时	オル	する	すブ	137	办
~ 重订今肾節字曹	用)		月)	日)	田)		4)	141	· t)	
了数	山		4]	用,	町		11	41	"1,1	
年金	出了		以	町	赵			·JL	九	
即文	用3		HÍ	到	即		'वर्	47		
英	中心		町	即即	此		12	すべ	まつ	
	形形		H\	R/	引		すれず、	が	北	
	出了	印	町町	町		・オブ	13 \ 1} i	さい	えた	مدر
	18)	4	日人	即	8)	. a 1	4	讨讨	41	411
TIT.	型				$ \overset{\gamma}{\cap} $				 -	
- 					البيمي ة			السا	المبيا	
炬			,				•			
齋										
质										
學			[1	1	

	十			 	٠,	 			77	*A
			"况,							オヤ
	14	沙心	八八	ハ	观	N	71/4	八	N	yf,
Ē	かり	ית ה	、カス	カブ	カファフト	カア	カスカ	カブ	カン	17,
「台里	刊九打		カレカレ	刀门	观		カル	加加	刀	<u> </u>
F	竹		カブ	끼	•		71	加加	刀了	<i>!</i>
至	札松		ルル	小	スト	r	•	ルバ	1	ę
	行抄	カヤ	刀【刀人	カブ	办!	77	八 八八	ガーカン	竹沙	44
7	 -									
矩齋										
所學		·								

ハハハスガスカルルスハハスススカスカカルカルカルカルルカルルルルルルルルルルルル	やおれたかけれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれ	かれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれ	行れたかがれたかれれたけか
--	---	--	---------------

でではなかではないないないかり	ママペマカ	べてないいれていてれていて	べいがいれていいれれれ	八个刀司司司司司四九八八八	ソベッツア	パハベスハハススススス	パングパングスグルルバイ	外人人人人人人人人人人人人人	スペンツマ
短齋所學									

代刊·行行的 · 行行 · 行行 · 行行 · 行行 · 行行 · 行行 · 行行	打刊打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打打	ママママママママママママママママママママママママママママママママママママママ
---	---	--

直丁台灣	好外外的外外外外外外外外外外	少少	公人人父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父父	经代处的到到犯到的此处	好处如约到犯幻如此外外	全ととかり	好人人好好到此处的人	到公约到到纪约公约公约	约公处公	1
三	外			Ó						1

邓武出取引引到,到武武武武引引	到到	的武士却到自主到出五五五十日	タダック	好外外外外外外外外外外外外	好外少少少りのりかかかり	九切か外外打口	が外タタ	好,外,好好好好好,好好,好好口	外外外外外好好外外	百二百人に素質した丁二百

	がガラ	アス	パパたガ	万八八六	コションコン	可以可以	可以上可	可以	37
八九八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八		八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	パルガガルルバ	ガルガガルル八		四月四日三十五八五	田里田出出了	司見可可以	
三短衛所學		口及	73	口乃		口买	四	93	

=1 =1 =1 =1 71	パアグリアルファアルバガロ
------------------	---------------

			ı							ن ائف رېيور خ	The same of
2.4	工工	耳耳	113	ケッシャ	73	グバ	·23	クタ	クパ	ググ	
A CONTRACTOR	. 正. 可	山	此	クく	ク、ウ・	グウ	クト	クく	ク、ク	かりかり	
	叫叫	山江	山山	ケア	クスク	グリク	クリ	ארו	かり	かり	一年 一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二
Charles Continued to the	叫	叫	11		クし	ク	外ル		クし	加加	で産
	3	时山	17		クし	小打	クファ		クマクマ	クラ	5
Arrivation of the Control	ħ/	此	业		外、少、	がか	外久		外外	外外	
2, 4	山人	町町	町町	クア	クト	ガツロ	クブ クノ	クジ	灯外	ケグロ	
The second											3
A PARTY OF A PARTY OF											
Mary American American					4*	Size A					

350				カ	-				
切如如如	かかか	好,分好好好知,	公分,切切切玩玩	奶外分奶奶奶奶		以以,此以以以以以,	町以上、町町町町、	取以山田田山田田	以上リ
知かが外がかり	抓	分别外	幻が別が、がかり口	分別分分	亚小	江江江江江	四世四世世山口	亚里里	
矩解师學									

ススススススススススススススススススススススススススススススススススススス	奶奶
---------------------------------------	----

司子曲	引到礼野和	うろうう	万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万	万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万	あるであるなるである	から	了万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万	方行なかがずれれがかれながかり	引かわり 打死打かれ不打	ススパスス
画	37 37	巧小	打队口	3/	51	初		打り口	行列口	孙
矩	e									

以为一次 以为一次 以为一次 以为一次 以为一次 的一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个

6	1.	** *		ks,		女	A Second			
タリンスラファ	妃妇	我大少人 刘刘九九九	文好处知知	处大	刘	支好外外的刘刘此的外	メンソン	以以以以以	火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火火	一上と産船
刘丁	好口	外外打口が	,1¢	礼外な□数	北北村口好	外が対口的	水小	义以	火火灯口火	

3	A A	<u> </u>		·. v				
1							+	
7	十十十	十	ነ ተ	ナ	卡	十	斗	文
13	43 43	1+3	叶 3	13	+3	+3	+3	冰~
₹ }-	ナナナ	1-1-	- -	₹ -).	+-	1-	十一	・メーノ
夏川ソト	サカ・ナス	` +3'	(十)		わり	カイ	村	.37/
F. 1.7	41	计门	十.)	Ī	刊	村十	刊	
は门にし	11	41	+,7		41	七村	11	
芦儿	ナマ	计	17.		1-3	北	42	
	1+1	14%	+	1	1/	1	+	
トリン	+17 +17			打			7	次T
	13	坊	杉		场	核	ヴ	
宛								Š
矩齊所學				:				
1				 	ر نے			

ドドドバードアルドアルドルドルドアルードアルードアルードアルードアルードアルードアルード
--

オオがれたおかがれたがあれたがあり、このでは、まなれたがあればれがかがれたがあればれがながながらしている。このでは、まなれがないが、はないないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ない	1 1 1
---	-------

可以不可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以	ハンウンコンカンカルス カツ水かり	れれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれ
---	-------------------	--

打共かりり	でくてでいて	でででもとい	とででででは	ですとでフ	さでもでをで	とできたででと	せてもとい	コション
打丸力丸丸丸丸力り口	でででしてして	していていている	石石工工		ででしていて	とないという	过心的	ンプノ
在齊所思						j 		

カ五島 大十三母音註	チャナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナ	ナ、打 ナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナ	ナガスナカカナカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ	おおれわり 打	夫打八九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九九	デ邦科サガガれが対が北外村が口	国言を産作り言い
---------------	--	---	--	---------	---	------------------------	----------

:	之	口呂路	ナ都	乙低	计德	尸居	孤	上基	大大高	于
	ル運療	女女数	土	レ題構	华 特.	少	引刻	计其某	भे !	
	发一方詩	il X	と虚	か ム 離	レ	ク	1	外人希	す	
了全年初之事	部日日		又奴	足足	イ前		五百		無 于我 儿	
414										
矩嘴所聲										
P										

弗

右六十三母各註所取偏旁原字於下 吳音讀平聲不便可作入聲讀故註入聲字音於一 平讀惟七月す予四母十分レイ四母でる中コ四 註之音有清平有濁平讀時先全作清平讀次全作濁 之相同者卽讀其字之音不再加註其所讀之音與之 全讀清人次全讀濁入 不同者再加一 音於又下無字可音者註反切兩字所 、韻官盐 、直丁子等列片首 四聲音註 了南平で清上て清去で層入 於所讀之音與 矩滴所學

恒赋	豪坳	プ 危 概	夏	我了
了殿、一曜		フマダ	一哀心	国言で前月で濁不び濁
過	、東スツ	スタア原	-) V	平で濁上で濁去で濁え
				入

	爺		因思		(安地音		7 翁鍁		乙亢映	
直で全事	•	汇痕	· 因	鹹	安	 	ר'	乙昂	乙 . 映	计候
	~	汇	Ľ	,;	-3	「 ゔ 	づ	心之	乙盎	1,
前平者		让、恨	٢	・マ	つ、晏	ヷ	゚ヿ	心、巷	乙、盘	、人候
<u></u>	1									
矩点所學										

***	上发		儿兄		3 延		ノ安南音		丁行		
	上	儿兒	儿	泛延	ラ煙	ソ寒	 ソ 安	竹	丁櫻	2.	Tall (III)
or person therefore	点	火 し 耳	儿	ダ演		<i>シ</i> ゛	ノ	ブ	!		八丁書写有りた
ACTOR CHANGE	与	بار -	儿	ス	3	火輸	人按	· 丁	ホ	./-	A July
一一 のおおはないでは、この間はないのでは	,							小	下鸭		-111
TO METALOGICAL THE STATE OF THE SECOND STATE O											1

如北音麻韻如吳音啊呀之啊」韻讀如北音歌	字所註之音有清平濁平有上聲均作清平讀	與之不同者再加一音於又下無字可音者註	音與之相同者卽讀其字之音不再加註其所	右上列十八韻各註所取筆畫之原字於下於日	沙無、 少姆 、 少	中 中 中	かが你な	ケ你 ケ ゲ ケ	少矣 少吗 少、
至 矩齊所學	作清平讀了韻讀	可音者註反切兩	加註其所讀之音	於下於所讀之					

音爺字如吳音詫異之聲丁韻讀如吳音庚韻行字其 韻讀如北音安字如吳音阿曾相連之音へ韻讀如 吳音了頭之了了韻應讀北音危字之開口呼如南 前四韻有入聲並列淸音平上去入四字濁音平上 音你字之平聲4韻讀如吳音姆字之平聲下列四 清 翁之開口呼如北音應諾之聲如不能讀即讀翁字~ 應諾之聲如不能讀即與一韻相重讀如哀字了韻讀 延字其清平爲煙字」韻讀如吳音吳字字韻讀如吳 人四字為兩行清平加點於左上濁平加點於左下 平如櫻桃之櫻ノ韻讀如吳音安字多韻讀如吳音 北 音

教授次序 註 濁音之四字則皆 之壓而讀 聲並列清濁平上 之如讀讀書之音郎不合矣 鴨吳音讀 三韻無入聲並列清濁 加點於右 韻全加音註下列四聲則有此字者註無此字者 可以類推而得也所註各字皆按吳中俗語之 日認字母清音十字兼認濁音十字 / 亘丁 / 字第第四曲 加點於左旁後 入各 蛟故 THE RIP PERSON 點於右 平上去各三字為 3 撇 | 矩 齋 所

第四日認字母清濁各八字	记记公上 少进之汉 山安	ひじムヒ ナ土七ス ロ女	第三日認字母清濁各十字	オリうあ アツク ナサルイ	メリ う カ ア サク ・	百	第二日認字毋清濁各十一字仍帶温前認之字出赞温	人立于 七山木于 上州火	人立于 七月十十 上升人	国言个雇作与言 三
-------------	--------------	--------------	-------------	---------------	---------------	---	------------------------	--------------	--------------	-----------

一直丁子辈們产普	万多甲 义女十	第七日認字母清濁各六字	ニアク エカス	ニアクロカス	第六日認字母清濁各六字	マチセタョブ	マキセ タョア	母	之北寸日 十刀十八	乞ルす日 ナカヤへ	
量 矩 齊 所 學	•										

音平上去入之聲並其記號使其自呼 以下同第十一日認四聲清濁各十六字教以清音平上去入濁	第十日記前グラル ム ケ 日	ダイト ラー こつ 一ト カナト記音一片	ちし日忍員トア・オオ コでチ	第八日認字母清濁各六字	万多甲 火久十
---	----------------	----------------------	----------------	-------------	---------

1	11.	· 소유	144	ந	MA	TEN.	12	DAY.]		3
i		阿	矛	立	师	杰	台	牙			
ł	提	呼		各		爲	行	1-1-	N	T	ł
		(未)	إجدا	母各行	J.	熟爲度	湛	m	竹竹尔		1.
	-	一点	· /\	73.3			355.		,1	, 4	
		興			H		耳	· Ħ	.3.	.7.	1
	賃	Z	於		讀		禧	讀		サナナナナ	
200	I	行	3				或	Á	.17	, T	ہیں۔ انک
	任提一字隨口呼出為度	試呼未讀之行如能呼出則屢試之未能呼	第十六日於そ山古日以後諸母中任擇		第十五日讀合聲譜中山母十母千母谷		各行清音讀熟再讀濁音平上去入各行	第十四日讀合聲譜中人母清平一行讀	74.44		一一丁二十十 ノー 地上 を打 とし まま
		如	1 -		军		丹	耳	\4	7	<u>,</u>
, and a	出	能	1		譜		讀	譜	.11	/^`	į
	爲	呼	FI		中		濁	<u> </u>	4	ソ ゾソ	<u>,</u>
	Fig.	и́	וע				71.	٠ ١		/ •	薩
	12	1211 1711	14		H		旦	~			4
1		則	俊				十	母、		: 3	f
	P	屢	諸		★		1	唐		ジジス	<u> </u>
		新	4				主	示		1	Ä
. :		PP.	4		Щ		7	-4-		ント	Ē
		بب	44		于		人				
1	N .	未	任	1	母		各	行		:儿	
		能	揺		么		是	擅		1.2	
	,	- T	岩		14			明		ソレ	_
	` `		調				A	烈		ابالا	三王
		出	數			 	厭	再	,		
		老	17		行		2	擅	.	In !	
•	, s `	*	36		州出		2	唄	`	77	
ı		汉	뿟		क	٠	礖	上	•	2	1
_ [出者教之以	台		一行帶温と		U.	熟再寶上去7	s ‡	上上上	į
¹ •		U	興數行並令其		よし	- {	不厭多讀以極	入			Á .
1			- Const			<u></u>	·)_KX			آ. وخوانت ريمنده و	

聖諭十六條 字令其自認不解者教之有誤者正之 認字拼音之外並令寫字 紅色令其描寫次以合成之字刻印黑色令其映寫每 句三句以至多句如此毎日習練久之則能習熟矣 れ、まかとい 不能寫字者須教以寫字先以母韻聲字寫成影本刻印 *** *** *** *** *** *** 十九日以後舉語句令其自拼自寫自一 一八日隨意舉字令其自拼自寫不能者教之 七日告以毋韻兩音合成一字之法隨意寫合成之 一目丁子手間子自 兩張 Ę 一句漸增至一 **妊**薄房學

		估 曾 像 少 惜 東 用
•		打犯场人刀不打
	K	重農桑以足衣食
		小別紀と大人也
	PLA,	和鄉黨以息爭訟
		五灯れにひれる
		=
-		代与べくり打れ
	יייויי עייויי	考:
•		北以乙代打印山
	国言人に産育に言	

		المساوي الأرا						<u> </u>		*
	務本業	失弘	明禮華	北公田	+	1 217	. 捏	かんか	· 郑	火火
	未以定	くない	張以厚	いくし	任以做	がし、上	师以崇	ガノン	仪以端	メンジャ
重	民志	北色	風俗		愚頑	女	正學	かん日外	士習	公功
丁台军節子普										
節了						:			;	
費										
E										
矩症						•			j	
矩齋所				ļ						
	أرينا المارا							1		

一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	想攀好親事 難弄 就算媒人好	竹打打到出 你们 如从本山北	家 看重 喫著弗行哉 拆貢 三	切 的切 物经对丁本 形似	經腳纏得緊 野痛 隨便哈正經	大好大切比 好好 本级我处止	吳門天足會勸放足歌	上班的式小奶丸之	解讐念以重身命	ゴシュ、人力礼礼.
三	x 成功 - 官人阿	以外的 初处下	一寸小金蓮 枉空	九八八八公 妃门	帕動 巴望別人	扎力,凡机切与				

字,此譜欲包括蘇斯各屬土音雖以蘇州音為主而增定率論十六條為文言勸放足歌為俗言各註簡字於旁以聖諭十六條為文言勸放足歌為俗言各註簡字於旁以	夢 趁早聽我話 放鬆 各位娘娘們 阿懂中意 弗中 那末懊惱罷 無用 一場白辛苦 做中意 弗中 那末懊惱罷 無用 一場白辛苦 做
---	---

聽其關 母韻 桐 與 松江湖州及嘉與數縣亦無別 有重 海奉賢等處之音 쇤川寸與マ チ幺無別上 サメアツ 蘇州音 日相遠之處彼此可以互通不致爲 タヨ 鄉等處上十人與尸 松 闕 不能 則全讀フ蘇州東城 そルす日與ナカヤへ無別 與重然不 アルクス 無別 不兼 無此音者也重者兩音不能分別者也習者 国丁石学等時で、西 爲各 可不知其理存其位庶語音不同而 屬計故 サクタヨ 與フ亦無別然 所列母韻於各處土音有 與 而常州 **丁與 ユカス 無別蘇** 無別而西城則有別 則 與 隅土音所囿 有別 まし フ無別松江上 與ノ蘇則全 **矩鷹所學** 湖

入聲 溪透穿清滂之濁故南音溪透穿清滂無濁音今旣 心知其故亦有窒礙之處如蘇州を與十無別而氊與 南音郡定狀從並等毋爲見端照精幫之濁而北音則爲 則不合ク讀 張 相 可 IJ 割字盒字等皆收此聲 不知其分別之理也 混 與莊則有別拼邁張須用之母拼甎莊須用十母不能 ョブ與ユカス亦無別凡此之類固可聽其重複然 湖 つ韻爲蘇州音所無當讀如杭州音罨了溶來之程 州 桐 卿等處尸讀如上 如人而 拼靴只可用ク 丽 拼迥只可用尸 如用人則不合故 亨 加 用 甎

賈文韻無別無此開口之收聲惟東冬韻始用之故不得 之母乃為東冬韻但蘇屬及杭嘉湖等處讀庚青蒸韻與 為濁平杭州語點字本上聲而一點兒三字連讀則轉為 連續則轉爲清平就字本濁去聲而就算二字連讀則轉 音有隨語而轉者如蘇州語伯字本清去聲而怕動二 平聲之 為勃之類 了字乃庚青蒸韻當讀開口呼如北音應諾然拼以合 **け皆讀為特人非皆讀為遲マ干皆讀為解巧多皆讀** 濁對讀則於溪透等毋重讀之可也如人中皆讀爲辞 類各處語音有如此者皆當隨時變通之 / 国丁子学等学性 1 矩齊所學

爲紅蒸讀 欣讀為凡與讀為外之類故紹與音了字當讀開口不 LICO可讀翁字而紹興則庚青蒸韻與真文不同如真· 為幻痕讀為上恒讀為了親讀為主青讀為 THE Ī **3**1 可

讀翁也

學藩籬則恐尙未易領會故欲學此字者總以口授爲善 此 母韻 明顯在嘗究心等韻之學者自可一目了然若未涉 口授極易而形踏筆墨 則頗不易達譜中諸 說 韻

各處方音如偶有特別之音為譜所未備者不妨於譜 增之但原譜不可輕動乃不致於普通之用有所

外

乜

160

١

要義也

音韻之理以母韻聲二者爲 編爲教育普及計但求其易學易解此 而其理則 一輕清濁 仍相貫通不差案黍生徒學 陰陽之判四 類四等之殊條理至為精 等精 此簡字但期應 有 喉鼻舌菌 微皆置

原可不必深求而好學深思之士 前不 可不知其源流

者將爲人師非心知其故無以應答生徒尤 鄙 人別有等韻 得

於彼書求之

重訂合聲簡字譜			

簡字叢錄

也 淪 籣 可使 取 語 於等 億 不 兆同 敢 韻 闌 韻 精詣其義 遠

頗

儕

討論

生

一徒講說

並

漸 多見淺見深叢雜 論 親 遯 誽 切 暇 他 輒 擇其 而 所得當 附 編

衛戸長

泵

ţ

矩

歽

				不我遐棄也乎光緒三十二年六月桐鄉勞乃宣識	世有洞平古今聲韻之	一 一 一 清金
	•	e.		二十二年六月桐	~淵源達乎中外	耳
				鄉勞乃宣識	教育之正變者或	

✓ 旬戸隻氷 二 矩齋所學く五子	母吳音之譜也	加有方圍者讀之即常音之譜再加有圓圍者讀之即圍吳音所增加圓圍按原字無圍者讀之卽京音之譜	者而一之以京音為主不加標識	音一譜旣刊行矣顧各爲一譜或疑彼此不能貫通今 三聲號一爲甯音一譜义增母七韻三濁音號一爲吳	簡字始於京音爲母五十韻十二聲號四余增母六韻	第 字南北音合表
------------------	--------	--	---------------	--	-----------------------	-----------------

3	韻		16	2)	3	4	々	十	t	
		作清母用再加	京音音音	<u>کي</u> ا	多	干幺	川古日	サレイ	¥ ◆	
	聲	用用加一點			以女十	9 3 7	ナカヤス	アシムヒ	上什人	存与首金
うずるで		黙於左側即獨母也	京音甯音母皆不分凊罽吳音則有		トオオ	ニアク		ナユセヌ	かりかの	金
アンラダ		獨母也 	則有清母有濁母此皆			ュ		又口女	西 アサク	
			興時此皆							

			L		2 7)		ーフ	
『電子機像	111	OC!	' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '	200	とごな	300	ナルル	1.000	1-1 rm	(H)(H)(H)
1 矩縻所學		(P)(F)	ָע ע׳ ע׳ ע׳ ע׳ ע׳	1. (D) (D)	フゴス	7.JJ),),	7 (5)(5)(5)	フブスプ	(SOC)?

		儿		3		2		1		なりた
月日日	元(3)金	ルルル	すずる	3 3 3	沙 (S)(S)	ンプス	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(H)(H)(H)(H)	200	
4										3

	鼻音子名 見奉 スユスア 夏	喉音 影响 ○く五于	口齒口口開齊合撮	京音五十母分配古母	由母韻以通籣字之法馬	簡字者可由簡字以通古母韻之理本明古母韻者可	音互有出入今各為一表以古母韻部一	平三十韻爲通行簡字所用亦不外	 	簡字南北音分配古母韻部表
ī 矩齋所學	夏音					殿之理本明古母韻者可	口母韻部一一分配使習	小不外此範圍而南北方	仍同而以三十六毋上下	

		重品	, see			舌音			1	
		重崗音一名正照			•	古音 頭音 舌			•	
	ļ	崗 音名		•		首名	ε			
案	穿	正正	泥	來	法	쌢		薜	逐	全上 主
審禪	床		VL		透定	端定		曉匣	溪羣	1/1:
र	<u>)</u>][4		I V			0	+	니.	1
0	川〇刀	そのす	Œ	ムと	į.	サンナ	0	ᆺ	++	تد
\$ O + O	A	1	上又女	七口	サレ土〇	ナロ	0000	キメイク	外	
	1	1								1
轢音	透音	夏音	捺音	轢音	透音	夏音	捺音	轢音	透音	
		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>					-
										_
						•				
,										
<u> </u>					نفت سروان	: <u> </u>				

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	夏音	0000	İ	輕唇音
	捺音	0+10	明	
	轢音	0000	<u>-</u>	
	透音	〇夕十〇	滂 並	
	夏音	0 1 10		重脣音
	捺音	0000		
	轢音	生のクロ	心邪	
	透音	干のアの	清從	
	夏音	20:0	輕齒音頭音齒精從	輕齒
	捺音	日〇八〇	Ħ	

之於母故古母一母今皆下列四母其	開口齊齒合口	濁母分隸者分註兩清母下以示區別	去讀夏音分樣兩母今以清濁共母者	清濁合爲一母又羣定牀從並母之字	以平聲之清濁分爲上平下平與上去	古母清濁各別而北音惟平聲有清濁		4		
ザ 一 母今皆	口齊齒合口撮口四等古分於韻而日	万註 兩清母	緑兩母今り	哎又羣定 肽	闽分爲上 巫	別而北音性	00	非奉〇〇	0 0	食气黄金
卡列四母	古分於韻	下以示區	清濁共母	從並母之	下平與上	平聲有清	0000 捺	00 まの	0	
其呼不成音	而母不分今	別	者兩母同列	字平聲讀透	去並列為四	濁上去皆無	捺音	轢音	透音	1/
拼音	則分		一行	音上	聲故	清濁				

		12564				anni al Series				فند المسعودات
	喉一部次音	舌齒部抵齶	鼻部一穿名	· 院三部 救 看	喉 一部 展輔	陕一 音直喉		京音十二韻分	以存其位	不用者列空
門戶長歌		1 元 悪 側	乙江陽	蕭肴豪	佳	3 麻	音	一韻分配韻那		圈以存其位戛透
:		磨 風 人			¢		方音		·	位戛透鳞
	/	文元	7東燕 庚	尤	ク	歌	陰正音			·捺不全者
矩 齊 月 學	麻	贷					方音			全者亦列空圈

喉餘音 **覃鹽成之字與元寒刪先同讀侵韻之字與眞文元同** 音 五韻部 故附於 侵覃鹽咸四部古為閉口韻屬唇音部而京師方音讀 讀韻部本音者標止音方音與韻部本音不同者標方 用字母不必拼韻即支微齊魚虞等韻部之字合之而 下平三十韻全矣 一韻分配上下平韻部二 不在其內緣字母所用已備此五韻部之音專 **し韻下而標明方音以別之** アイニ 三角 儿 一十有五惟支微齊魚虛

で、「矩魔所學	*	绿	簡字養錄	
	捺音	0000		
	轢音	すメイク	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	透音	コサリタ	溪羣	
•	夏音	七上ガ戸	見羣	鼻音 牙音名
		〇く五子	影喻	啖音
		口齒口口		
			分配古	甯音五十六母分配古母
	不註	部所無故不註	三十韻	儿字爲餘音三十韻部所
		ť	-	車遮韻也
所註方音麻飢	讀~韻	類北音與麻異讀	·	麻韻內車遮

	輕齒音頭音齒				重磁音齿名正				舌音頭名舌	
清從	精	日	審禪	穿肽	照床	泥	來	透定	端定	7 3 3
干ヨアク	マタニユ	田 0 人 0	4040	川〇刀〇	WO+0	1七叉女	レムとロ	华公土〇	Hマナ O	7.1
透音	夏音	捺音	轢音	透音	夏音	捺音	轢音	透音	夏音	
e .									,	

00000	軽唇音 明本
000000 000 000 000 000 000	
00000000000000000000000000000000000000	
000000	
000000	明
00000	
〇夕十〇	
	滂並
〇メト〇 夏音	重層音
0000 捺音	
タェクス 轢音	心邪

喉一部次音	舌齒部抵齶	鼻部穿鼻名	帐三部	唉 二部展輔	喉一部直喉		甯音十五韻分	勿み六母	甯音字母與	
	- 寒 剛	乙江陽	蕭肴豪	佳		音	分配韻部		與京音略同	作与背角
	軍咸					方音			惟增輕	
>	上真文元	7 東冬	尤	ク灰	歌	陰正音			歯齊歯タヨ	ナ
体	、 文元 長青基					方音			タヨア撮口エ	

吳音六十三母分配古母	餘音亦北音	庚靑蒸爲東	聲又不同故別立ノ	有一類如官	北音寒刪先	鼻餘音	帙餘音	又	舌齒部次音
₩ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	餘音亦北音所無也餘同北音	庚青蒸為東冬之開口而南音與眞文	別立ノ爲開合之韻ヲ爲	類如官與關不同堅與艱不	覃鹽咸均無別南音寒先	<u> </u>	یار		
- -	Ħ		一韻多為齊撮さ	同ウ	門音寒先鹽等			3	ー
短齋所里		元無別ユ爲鼻	齊撮之韻北音	与與堅收	九鹽等韻之字別			成元 先 鹽	寒

		重層音				輕齒音頭音齒			<i>1</i> .60	重協音「高音正
第六	涉	常	<u>,</u>	150 	清	稱		普	牙	照
复家	多文丰	万以上	0 0	セアク	干ヨ厂	マタニ	0	ゴーナ	川〇刀	そのす
	0		0	ス	<i></i>	п	0	0_	0	
		並		邪		從	日	輝		冰
上種郷	子少井○	万以十〇	0000	セナクス	千ヨアク	マタニュ	はつべつ	4040	川〇刀〇	そのけの
矩齊所學	透音	夏音	捺音	轢音	透音	夏音	济音	轢音	透音	夏音

								Target Section							
			į								į		子	音之字	
心 故亦列其清	亦	故		有	各		賁	清	白纽	节	來	罗	轢	類及轢類之來母古無清音而方音有力	
拼字時可不用列字以存其位讀時可與戛類相重捺	類	夏	崩	声	明時	位讀	其	存	ナリ	烈	用	一六	時	拼字	
央音清濁異毋與古母符合故清濁對列透類無濁音	類	涛	列	對	湯	放法	合	符	中型	理	母	異	清濁	埃音	
捺音	0 0	1	0	0			0	000	0		<u> </u>				
轢音	Ó	飞步	-72	-3	奉		0	飞声 0	コァ		非				
透音	Ō	o		O			0	0	0						
戞音	0	0	0	0	ļ		0	0000	0		 			輕脣音	沙亩
捺音	Ý.		,,	۹۲۰.	明	mtd	Ö	ヤナオの	7						
轢音	0	Q	0	Q			0	000	0						
			-4	1	1				孟	7	10000000000000000000000000000000000000		Ì		T

舌齒部次音	鼻部次音	喉部次音	舌齒 部 抵 器	鼻部一穿鼻	三部	一部展一	一部直一		吳音十八韻分
	T			۲	1		3	陽	配
			刪	江陽	蕭肴豪	佳	ले	正音	配韻部
	勝 庚			ù		灰	佳	方音	
_ 		`	上與文	7 東久	九	<u>フ</u> 灰	歌	陰正音	
覃元寒先			へ元 戻 青 巻				麻		
		部次音 て	一部次音 丁 勝庚 一	音 7	方大大 <t< td=""><td>方大大大大方大大大方大大大方大大大方大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大<!--</td--><td>方音丁大フフ音丁大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大上上上<t< td=""><td> 一</td><td>方音場正音方音陰正音一名7女フ一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大111大</td></t<></td></td></t<>	方大大大大方大大大方大大大方大大大方大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大 </td <td>方音丁大フフ音丁大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大上上上<t< td=""><td> 一</td><td>方音場正音方音陰正音一名7女フ一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大111大</td></t<></td>	方音丁大フフ音丁大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大一大大上上上 <t< td=""><td> 一</td><td>方音場正音方音陰正音一名7女フ一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大111大</td></t<>	一	方音場正音方音陰正音一名7女フ一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大一名1大大111大

A SOR ME	/ 為北	育音所	同故ろ	立丁以	吳 音庚	唇餘音	舌齒餘音	鼻餘音	唉餘音	又	
*	育車遮韻吳音	無也	下不註元龍	/別之 預専	吳音庚韻之字近於 以	4	*	<u>5</u>	儿		1 6 5 量金
i	百所無惟一出		註元韻ヶ為舌齒餘音	拼齊齒其撮	陽而稍斂陽			13.4.0.0 13.4.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.			金
一方で、 これの大学の大学の大学の かっちょう	託異之聲似之但		首中為唇餘音則又	口亦用ノ與	韻之字亦有					3 - 先	711
Charles and the second	之但亦		音則又	與甯音不	亦有敛音別					先鹽 咸	

	, A 44	** 黄枣,老额 冬日。	 40	4 33 ° 8
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一			此悉依用其義例欲知其詳可於彼編考之	以上母韻分音分部分類分等詳愚所著等韻無字可拼脈能視爲餘音故存其位而不註韻部
E E			仮編者	所不
短齊所學			与之	所著等 韻 一
里			, ,	得

			1

空穹差妻麤趨等皆是向來等韻家四等之分皆在韻 不拘呼等如根字開口而切以古痕痕為開口而古則合 口非開 「涓則干爲開口堅爲 音音· 字四等分於母說 非合口也暄字撮口而 母則不分故古人反切四等之別在下 則根為開口巾為齊齒昆為合口均為撮口又 齊齒也東字合口而切以德紅紅爲合口而 有四等呼日開 口也蕭字齊齒而切以蘇彫彫爲齊齒而蘇則合 齊齒官為 口日齊齒日合口日 切以沉哀袁為撮 一涓為撮 字而上一字 口而況則合 撮 口如干堅 口根 如坑 則開 1

1/ 9 2 美承

5

之堅合口之官撮口之涓實皆收聲於開口之安不必用 然之音辨之堅實為基安官實為姑安涓實爲居安齊齒 然之理四等實全分於發聲之始至收聲則皆收於開 同 字鴛字皆撮口之類一呼即得己遠勝於古法然聲音本 呼下 腰字皆 非撮 等呼之不甚諧也音韻闡微以合聲之法易之上下 基煙為堅姑彎為官居淵為涓誠至諧矣然就口中自 取 同 口也以此之故古反切不甚易解緣上一 一字初不必分等也即如干堅官涓四字歌安爲 齊齒都翁切東都字翁字皆合口虛觸切暄虛 等如歌思切根歌字思字皆開口西腰切蕭 作与首母 Z

俞安切為淵伊幹切為英烏幹切為豫俞幹切為难之類 為建烏厄切爲窩俞厄切爲約伊安切爲焉烏安切爲聲 所莊反切下一字皆用開口之字如伊阿切為鴉烏阿切 切者所未道獨 爲昆居氲爲均亦爲至諧然自然之音巾實基思不必用 係用此法允屬天造地設不假安排惜全譜未能全用此 因見實姑恩不必用温均實居恩不必用氲皆齊齒合 煙彎淵也又如根巾昆均四字歌恩為根基因為巾姑 上一字之母不在下一字之韻也此其理爲古來論 口俱收聲於開口之明證是反切之分別開齊合撮實 欽定同文韻統華梵字母合璧第一譜 ř 短齋匠學

謂今人心思不能踰於古人哉至甯音元先鹽等韻之 法後人亦未有宗之者今簡字之法於字母中備列開齊 **齒撮口 吳音先鹽等韻之齊齒收聲於 万而不收於ノ則** 於母而不分於韻之合於天籟非前人舊法所能及也孰 為教育溥及之利器其所以能臻此妙境者實由四等分 用反切之法若合符節合而呼之躍然而出如矢貫的如 四等專用開口喉音為拼音之下一字與合璧第一譜所 合撮四等每等各為一毋為拼音之上一字而其韻不分 一委地田夫野老婦人孺子入耳而能通矢口而能道戲 一方偶異之音叉當分別觀之不可一概論也

音解音 古母三 有濁無清者疑來泥孃 知與澄照與牀審與禪精與從心與邪幫與並非與奉 方音爲主方音所無者本不必用故不以 其大別大 國同文之音非一處方音所能備也後世等韻家每有 一毋爲偶者十 而又往往彼此相非其實皆限於方音未嘗觀其通 十六清濁相對者影與喻見與羣曉與匣端 古母列表說 (抵有二 分清濁其清濁爲偶者併爲 一有清無濁者溪透徹穿清滂敷 分清濁 日明微七母為奇者十四原包括 不分淸濁是也簡字 一刑併為嫌京 秬齋昕 母十 與定 母

/ 第三 授录

ż

となっている でんしょう

۲.

ţ

不用 兩母 十偶 母除 無舌 而清 知澄 同 與京音甯音同 母 母同 而疑別於喻 兼 爲 與非同也吳音 濁爲奇者 一音也所以不 一十母十 不與喻毋同 清濁數之則為**三** 自己一首金 十母數之 與京甯音異雖亦不 互補其偶 多用 奇中不用 一奇中 則為三 母分清濁其清濁 用疑微者喻疑微 **亦與京甯音異也** 疑毋共為二 用徹 母其無舌上音 敷疑 偶 母所以 敷 中亦不 用微母 嬢徴 嬚 一十清 微馬 用 用 世 知 知

母皆不可 如 即 母京音甯音用一 一、肖其本處之方音求其通必統括平各處之方音古 敷然陝西續鋪如古之敷微母吳音與奉無別故用 推廣於陝 滂母之 可闕也簡字之用一取其易學一 用 **六母本參合當時宇內方音而設今已多厯年所** 微然 用 如推廣於閩廣則當增入 輕音與非不同而今音非敷無別故 似此六母皆爲今日方音所無矣然閩廣 山東兖州濟甯等處無奉母而有微母是則 西山東仍當增入敷母微母是三十六母皆 / 铜芒。姜条 一十九吳音 知徹 取其能通求其易 3 澄軁等 知徹 せな 澄 **矩齋**所 用非 母敷 嬢敷微 今 母 奉

於簡字用母之旨及各處方音與三十六母之離合異同 簡字之條流凡本明字母舊學者證以舊法參以方音則 各省方音尚不能出其範圍四方舊學家通知其說者亦 母人上分尸皆見母之類是以京音甯音皆十九母而京 可不煩言而解且使初學簡字者借以窺古母之門徑爲 尚不乏其人今列爲簡字分配古母表取古母之部別明 **分為五十母甯分為五十六母吳音清濁各二十母而分** 其四等不備者或闕之為三母二母一母如く五手皆影 求韻學之階梯觀此表者當自知之至開齊合撮四等 於母而不分於韻爲簡字之創格故每一母分爲四母 有与宝安

			爲
			爲清濁各六十三母也
	·		
明字是安			母
泛爱			也
3			
矩			
矩齊所學			
學			

					7年二萬金
					ブー

簡字分配韻部列表說 其陰庚靑蒸東冬韻也曰舌齒部其陽元寒删先韻也其 齊魚處韻也曰喉一部其陽佳韻也其陰灰韻也曰喉三 音麻韻之車遮類也鼻部次音吳音庚韻及陽韻之數音 陰眞文元韻也曰脣部其陽覃鹽咸韻也其陰侵韻也 部其陽蕭看豪韻也其陰尤韻也日鼻部其陽江陽韻也 **有次音十三攝今京音甯音吳音所有者帳一** 下平三十韻定於平水劉氏非古韻也而爲世所通 人所共知故以此指示易於曉解等韻之法分三十韻 三攝日喉 人前上 後张 部其陽麻韻也其陰歌韻也其下支微 部次音北 矩齋所學

Ŧ

実音之齊齒用之而不用ノ韻開口則一方偶異之音也 韻也此後爲次音京音有\韻甯音増ノ韻吳音及増丁 音甯音吳音皆備所以無脣部者京甯吳方音皆無閉口 一韻之字故韻中不列此部其前列之了へ一フ」一て了 爾此後為餘音京音有几韻南音增二韻吳音又增了題 餘音吳音無也以籣字之韻覈之支微齊魚虞爲母不拼 餘音北音兒也鼻餘音吳音吾也舌齒餘音吳音你也脣 也舌齒部次音吳音寒先覃鹽等音也又有餘音四攝喉 4側至3韻爲ノ韻之齊齒惟先鹽等韻中寓音之齊撮 一 上十韻即喉 一部至舌齒部之陽陰各五韻此十韻京

而京音甯音吳音皆讀如 之開口而南音與眞文元無別侵覃鹽咸正音爲 部之字各處方音讀之每有 正音者入方音格以示區別閉口韻京甯吳方音皆 用巷字省筆作七為覃鹽咸韻 部然閩廣及吾浙 他日若推行於 衛军養家 一格共演作正音者入 口韻亦不可少 温 州等近閩之處皆有閉 (正音格方音 今豫擬兩

					而韻之六部全矣	10000000000000000000000000000000000000
	•				•	

學堂不廣識字必不多識字不多而覬國家之富且强 宜尚書之鄭重詳審樂觀厥成也夫中國之辦學堂經費 今日奉 立初不悉由國家籌款故經費甚易中國風氣初開民閒 貧乏者眾其無力與辦者勢也旣無力與辦學堂必不廣 讀書識字有不學者罪其父母謂之强迫教育其學堂 **亦非易易矣東觀日本西覽歐洲凡紫童大成以外皆當** 有簡字半日學堂之設蓋此堂之設否關繫民智之通塞 一宵簡字半日學堂師範班開學沈 一商兵亦既各建校舍而猶垂注於教育之普及於是 明韶廣設學堂建德尚書尤亟亟以興學為務 '、 衛三 後 深 鳳樓觀察桐 矩齊所學 演 () () () 林

中國積習每好為高論凡造就下流社會之利器皆鄙 無足道試思國家將坐視下流社會之蕪穢盲塞而徒恃 平國家富强之源不在 人女子人人識字無論資性不近即人人聰哲人 東髮受書非十稔不能握管撰文此 上流社會遂足以富强平然中國文字極煩學亦 以使 社會之識字一 一年之時閒也是以建德尚書之設僞字半 不識字占其九十九此而欲民智之開得 南北 以省時閒何 人中下流社會居九十九今也 |流社會之人 才而在 而欲田夫野老

類多經營極微之生計販賣飴陽果品之屬以餬其口 學乎然學則飢寒不學則民智不開無兩全之道此非省 業婦女有婦女之職業今欲含職業而入學堂多則五年 老婦人女子非不欲識字實無暇識字農工有農工之職 字之類但智六十九字即可拼成三千餘字雖極魯至愚 其時間以半日學以半日仍營職業不可況貧窶之子弟 少則二三年然則兆民將不食不衣枵腹裸身以從事於 合成一字最為簡明亦如古之反切以德紅二字切成東 乙人亦不難於學成其易知也何如何謂省時閒田夫野 字數義繁賾精奧雖宿儒不能悉瞭今以一 一篇子爱家 | 独齋所題

一年 二十五金

東卒皆 有益於身心學修身則聖教可明不至惑於外教外教家 知又不耗時學成之後並繙成新字書報廣布民 6个其來 普通 交札 幼 乘弟子道之以政各章已明言之學輿地 佛奉天出於虛無聖教則齊家治國皆歸實 而 知識 婦女家書皆可人自為之何至爲曹昧無知之 可閱報 不學長 都會 學 即 可借以發明如修身輿地歷史各科學皆 看書時事借以通曉民智借以開 可以牛日營生計其省時閒也 岸民情物產五 浮蕩 爲盗賊其禍害彌 方風氣皆可盡 則 驱 何 踐 惟有以 Ш 間車 如既 如論 形 勝

學不負所期今日學成師範來日教育學生由近及遠由 史 能明理明理則無事不可治無業不可就皆學之力也今 授此堂者皆實事求是深通韻學之士諸生務當銳志 必自卑勿謂簡字至淺勿謂簡字至俗由淺而推之深由 灌注於新字之中君子之道譬如行遠必自邇譬如登高 俗 《蹟可考非空疏者比茲者新字習成凡普通學科皆可 則國家之治亂興衰君相賢愚忠佞節義诣大端皆 而推之雅固至捷之事也是故識字斯能讀書讀書 日諸生來習師範者皆 矩齋所學 向 國

國 韻篇中所云六十九字指初訂母韻言也下篇同 不可為無用之人致與草木同腐夫草木之 及郊廣 初訂甯音之譜爲五十六母十三韻後乃增爲一 為開學第一 /外無不入學下至 **勸導庶乎雲從風應** 一角に当日 則歸於烏有是草木之不如也諸生勉旃 日吾猶望諸生立志學成之 斯追步歐美人人識字之 田坻野老車夫與卒婦 不必效 西人 盛也不難矣 一腐猶 後各盡義 强迫之法

之可平周玉帥欲農夫牧豎婦人女子皆能看報章閱 **欺希與齏妻西居祛虛與咀趨 如東冬江陽魚虞之類皆可併歸一** 一音之類至入聲北無而南有故亦增之今日師範開 本古時字母審今人方音成五十字母又以古韻太 故特開是堂是堂名簡字簡字何始乎始於甯河 專用京音南方不盡相同吾特就南音加以六母如 先生之言廣大精微無以 韻如闢與官艱與堅北音相同南省之江北等處分 / 荀子 传系 學堂 須北同而 韻定爲十一 但 南異之類叉 Ā |短齊所 韻 鵬

諸生中如有平日 此隔閡習簡字本欲語言畫一今反兩 馬亦不可以不辨一說以爲增添六毋一 反繁耶不 知 平素不知反切若能潛心研究 可躐等也今末講文字簡易即欲語言畫 豈非躐等乎躐等之學萬不能成如 先聖有云齊 之無待贅言也雖然外閒不知簡字之 兩次辦法 知文字簡易與語言畫一 有りたかりな 日本亦先有平假名片假名而後有國語 變至於魯魯 知反切之學者則一 一變至於道言變更之不 不難明其理諸生當自 本 五月可以 應作兩級指 不相謀豈非 韻南北語言 妙用者有二 是欲一 級辦法 領 一說

之於國語之途則從之如流水趨之如大道矣此所以教 皆有變遷語言之思想有變遷語言之思想然後率而 西語言之日力移而學此耶故莫若即其本音而遷就之 本欲誘之使來何可駁之使退耶今世學東西之語言者 至眾矣然東西之語言學成可以爲名高人豈有舍學東 其難望而卻步教育之道莫妙於誘莫不善於駭開學校 深曉音學之甘苦也何也中國之用舊字數干年用方言 亦數千年今欲數千年之方言一旦變爲官音聞者咸苦 人人知簡字之易學知簡字之誠可代語言然後人人 **国际股票**第字 長家 級辦法之直截其言乍聞之似近有理而實未 Ē 矩鷹所學

音全解 飯 余之徑 吾所有今北音 於是 然大悟日 耶 彼 語言 日汝 榖 道 Section of the Section 以土 外 况乎學南音非但 在 可爲 旣 閒之不求文字簡易而驟欲語言畫 於誘也 國語全通矣所謂相反而適 以土種禾以禾 此一字吾讀某音今北 飯此 種飯之爲 可以簡字拼之由是 「則無之僅須一 此 4 人所 j pj 躐 直 生穀 不與北音相反而 等而進耶个夫土可種禾禾 截痛快言非 知者也若含 轉移之 以穀爲飯之太迁緩不 而覽 方則讀某音此 功而北音全解北 相成也 不此試問 北方之書報 其中層 且相成 此前 累之數 者 可 何 何 不 音 種 P 也

之當知者也其一 音韻闡微合聲之例如前人切德紅為東不如都翁音準 六母少於新母而實繁五十六母多於舊母而實簡舊母 之類此其易者二也今世學者以說文爲專家之學通都 雖名爲三十六加以開口齊齒合口撮口則爲一百四十 者也簡字者特三十六母之併省反切之便易者耳三十 其論乃世界之有心人務保國粹見非不卓然此不必慮 義六書之學皆廢說文之書無人誦讀古學必就湮矣此 四今雖五十六母其實止十九母此其易者一也反切非 通其例不能曉簡字則一望而可知一 八百三 复长 一說則又以爲톍字一 興但有聲而無形 Ē 呼而即出合於 矩齋所學

今通簡字後則凡有反切之書皆迎刃而解然則簡字者 學向何慮哉諸生至斯習師範亦惟堅持宗旨以達於畔 通 之中習者僅數人焉其故皆由阻於艱奧故習之者少若 非惟不足湮古學而且可以邪翼古學光輝古學昌明古 即反切之捷法也不通反切即無由讀說文蓋今所行 說文每字下必注云某某切不知者讀至此即瞢 由此入不知聲音之理徒執形象以求未有能悟者 簡字後再習說文則易易矣何也說交多從音訓戴 ·者未能人人通反切亦坐反切之無捷法耳簡 1 味 也 段

字簡易不能遽求語言之統 文字簡易與語言統一 賜鍼砭具見關懷教育之盛心曷勝感佩鄙 撰字母愈遠於同文之治謂宜强南以就北不遺在遠 **小能不應之階級反復籌維乃以隨地增撰通其變而仍** 有增無減統其同正兢兢馬懼其遠於同文之治也夫 此辦法及加以體察始知此中有不能不分之界限 一月二十八日貴報述簡字學堂辦法 日報館書 一門元 愛家 一皆為今日中國當務之急然欲 欲語 言統一則必先求 蹴幾者蓋設主音不主 則慮隨地增 矩齊所學 初亦本擬

Ž,

Ē

西日之字亦各處各以土音讀之不能皆用官音也果能 字者故必各處之人教以各處土音然後易學易記即 中之音不同則既須學字叉須學音更覺難矣假使以官 之字欲人易識必須合其讀以口中本然之音若與其口 界限也迨上音簡易之字旣識之後再進而學官音其易 時兼營並進也此文字簡易與語言統一 話字母强南人演以北音其扞格必有甚於舊日主形之 天下之人皆識土音簡易之字即不能官音其益已大矣 **刊倍蓰於常者蓋以此方人效彼方語必求肖其音**己 一於學習官音乃別是一層功夫不能於學習簡易文字 有不能不分之 加

韻聲之條理 字皆可推能肖其聲之一字則同聲之字皆可推明於 一母韻聲之字無異也所異者音耳以本識之字本明之 一音之 母韻聲之理已了然於胷矣而官話母韻聲之字典 字 但變其音有不渙然易解者哉此文字簡易與語言 有不能不 字則有所憑 入聲也其母與韻 而其本 同毋之 則易於貫通今先以土育學簡字於拼音 割三 食事 歷之階級也北音原譜五十母十二 字皆可推能肖其韻之一 一母韻聲則必自相 亦與南音有互相出入之 Ę 字則同韻 律能肖其母 鉅齋听學 韻 處 四 母

故今增· 學成之後 與蘇屬毋韻猶有 近之處 南 南音 功倍 州與皖省語言相近之處皆可通然甯音雖 上音 學成後教以官話學之亦極易 之號爲蘇音之譜而蘇屬各 所 金陵所設學堂 L 八毋三韻 削 學之極易又由京師延 可通所增母韻皆北 用原谱以學官音 則仍之而 出 入旦 入聲之號爲甯音之譜 即 無溫 用甯育之 不刪以備學官話之 音所無也 無待月起爐 也故 府 上年已 都 廳 以甯 人士 叉增 興浙 Īij 人為師 為官話 寵自然事 北 而 七母三韻 音 省語音 窜 有 原譜亦 入聲 屬 班 師 各 俟 相 III

語文愈 一音亦必有缺而不全之處而易收統一 、験確 國皆 相與講求而增之以期包 有盆於同文之 自能引南以歸 北音全譜包括於 干餘 同 裂者恐所增之譜與原譜 可憑是隨地 /新三度录 而能包括諸方之音也今吾新定兩譜 一音閩廣有舌 年度其時各方讀之必字同而音 北矣日 也 上毋閉 蓋所慮於增撰字母因 相 母韻聲音非 本當語言未統 通 而 韻他 相悖 能相通也今有 或 矩磨所學 日當乞諸 加 ö

以供眾覽匡其不逮學界幸甚國民幸甚非區區爲 者甚大故敢將此中曲折覷縷洋陳尚亦登入來函 增益愈多包括愈廣統 庶幾易收統一 述 明其私也伏乞鑒之 附二月二 下等社會本取法於北洋惟主持者以北音無人 母韻之意在以上音爲簡易之階以官音爲統一 更貴報為海內眾望所歸一 簡字學堂辦法 一十八日中外日報 一之效則尙有志而未之逮也總之鄙人 簡字半日學堂以拼音字母教 愈全方傀增益未備非敢妄事 一字褒譏關係於教育前途 則 ᅰ 2 闁 增 的

爲也 也主持其事者其一念諸 以舉辦之先後論惟有强南以就北正毋庸紛紛更變 五十字母實不聞有隨地增城之說个中國以遵王論 深慮語文之不分裂而極力製造之俾愈遠同文之治 識者人以為憂今改用拼音簡字乃隨地增撰字母是 倘復在蘇常舉辦必更添撰字母中國方言不能畫一 揚州等處又擬按照汇北口音再行增設數字母將來 在南方舉辦因增入入聲字母數音現將推廣於江 一年 一色水 į 按英文二十六字母東文 F **电索听**學

		1 一 2 1 金田 金田 金田 金田 金田 金田 金田 金田 金田 金田 金田 金田 金田

緊而議推行簡字所以翼民智之開通教育之普及好使 考訂切韻諧聲與其已識之漢文無損焉凡民目不識了 潘籍郛孝廉 凡民識漢文難而行簡字易軍學商政諸界與民皆有關 議推行簡字亦謂識漢文識簡字可以各行其是可以並 旁註漢文其意欲使 無簡字彼之不識漢文自若也北洋簡字已 下貴賤之情或有閉塞而隔閡也夫軍學商政諸界中 不過於漢文外岩識簡字一類如讀碑偈如摹鐘鼎 詔諭暨天文輿地人倫歴史姓名尋常有用之字莫 立書推行簡字非廢漢文說 人由簡字以 \略 藏漢文也然則吾 出報年餘 如

| 南子造郊

E

矩 齋 所 基

皆智之閩之人於漢文亦仍皆智而識之不聞因有切音 腔切音取完字之一筆凡與先音同者皆以代之閩之人 此文人之好古與誠時務者之通今耳不見夫聞人之閩 以一直二直三直等碼代數之一至九乎代數之碼通行 之謂智家縣東西文者有謂其廢漢文者乎然猶可談日 行不悖可以使簡字與漢文相因相成而不相則謬非謂 東西文者交習等標束西文者有因之而廢漢文者乎人 人人學簡字直可以廢漢文也夫人有智樂隸者矣有智 可談曰此方音之離奇故特製此字以便俗耳又不見夫

茲字名簡固因陋就簡之謂也漢文猶富貴之人也疑推 之如甾處之添然使富貴之人責其因陋以就簡且鰓鰓 股飲食也其是非倘待辨哉余既作推行簡字學說有謂 行簡字之廢漢文猶富貴之人慮貧乏者之廢其宮室衣 然慮其相智成風將盡廢其宮室衣服飲食也有是理乎 然其在陋巷之子福褐不完日得藜藿以供一飽固已甘 **閩腔切音下之爲習一直二直三直等碼亦在人視之爲** 一或廢也是故學智簡字上之為智篆隸泉西文次之為習 已久而漢文之一至九未或廢也即漢文之靈至玖亦未 何如耳今夫重閨稜闥衣必文繡食必膏梁富貴之人則 の一門子長歩 差

					異日將并漢文而廢之者故復作是說馬
--	--	--	--	--	------------------

李氏音鑑北音入聲篇音釋 錄 **聲難辨爲慽偶檢李松石音鑑中有北音入聲** 之字為 有偶異者則以京師內城外城語音亦稍殊也閒嘗毛 以京育為主極有裨於學者顧考諸拼音官話書報 北音無入聲凡入聲字有讀爲陰平陽平上去聲者有 師又與各北方不同簡字以京音為主學京音恆以入 字時而讀陰陽平時而讀上去者北方各處不同京 四聲有字可音者音以字無字可音者音以反切專 一通分爲陰平陽平上去等聲四類叉別四聲通 類其異於拼音官話書報者另列異讀 / 割产 美義 T.E. 矩齊所學 一卷所 類 亦

一 行到 ご かえな火	隻汁擲騰纖々	秃土	督ナ	剔踢飞	鞠尸	笏 ;	哭窟)	吸噏翁哲肸义	七柒漆威计	積績喞展ユ
* - + - +										
in the same of the										
矩齋所學										

天山	幹挖幻	鴨押心	霹``	逼俑义	建 届 少	权十	出刀	隆 強	喫川	人食L 与"其余"
										茜

三 一 三 一 三 一 三 一 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	搭 将	姚蝈 礼	括話适問的	歇蠍外	削以	瞎刈	指的	接虧揭入	夾幻	黑护
知 矩齊所學										

殺が	插軟錘心	粥幻	摘ぐ	整人	脫托到	捻心	貼八	跌入	一般に行覚を
AND AND THE PARTY OF THE STREET, STREE									332

(名別が) 全文全人	 	曾以	関鉄バ	縮入	撮壓蹴踧簇八	薩靸幻	說书	刷打	矗 截觸:入	捉派八	
	ļ		•				•				
É								· I			
距齊所學								c			

席席青錫習メ	缉楫輯戝 牡	集寂勣籍脊迹蹟踖疾蒺螂即吉佶頡極急仮級ユ	核劾覈曷獨餲盍闔榼合;	閣葛革格胳挌骼蛒膈鬲 <	陽平類	發	摸 术	拍补	簽	一作に一貫金
--------	---------------	----------------------	-------------	---------------------	------------	---	------------	----	---	--------

了司工复杂	足卒・	孰塾沭秫菽贖屬蜀 †	竹竺軸燭配す	十石拾食實蝕什才	直殖秩帙姪質執職 4	譚慎檀盧毒獨ナ	倜ぐ	笛敵嫡羅荻狄的迪滌覿又	橘菊局ド	が かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい
						:				
距齋所學		•								5

少國國人	協變脇叶以	轄柙狎狹挾× · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	節結察劫拮詰子碣竭杰傑桀八	嚼り	" 被 切	福蝠匐伏茯服菔稪復覆腹ナ	僕璞幞樸朴濮扌	俗ク	族	10000000000000000000000000000000000000
------	-------	--	---------------	----	-------	--------------	----------------	----	---	--

/ 街产 支米	* 哲重聲吵摺 公	開煤 切	秦 人	奪鐸人	选童垤哒蝶牒牒登八	達笪妲答忆	決訣玦鴃厥蹶倔掘譎絶八	育八	活心	骨猾以
39	:						\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			
ALL	· .	,								•
短鷹所學			-					·		

	順睪心	雑匹べ	朔碩礼	逐築啄琢阜倬焯鐲濁斷茁鑿濯	熟礼	勺芍や	古叙法小	祭 心	始軸 幻	宅女	41三省6
e de la proposition de la proposition de la proposition de la proposition de la proposition de la proposition				握妙酌 1							

上聲類	佛式	伐筏閥乏罰却	雹能 以	白ト	亳駮箔鉢脖蘗搏搏八	拔跋以	别公	昨八	賊ジ	
上, 足齋所學										

都村	幅ヂ	10°1	疋匠癖 送	筆义	屬寸	尺㎡	乾乞ザ	戦給工	遏引	/ 作字第如
										

	北戸	屬必	雪パ	索外	窄~	鐵帖以	塔书	柳介	雀州	削
/ 箭云 菱浆										
月										
東齋 原學	4									

泣迄 北、	嫉卿上、	赫壑齕 *	克剋客刻酷以	谷弋、	王郁鬱獄鬻欲慾育澳薁聿浴疫役牙	物勿五、	扣佾く	盆溢鎰鍋譯驛釋懌歝亦奕弈億臆佚決翼翌逸弋易	去聲類	1 有三首金
--------------	------	--------------	--------	-----	-----------------	------	-----	-----------------------	-----	--------

赤斥勅飭八	室植く、	律漉絲只	厳碌錄鹿轆麓戮陸七	真贋 ナ	匿暱溺と、	立笠粒愿憲栗慄カム	特忒生	獲蠖穫忽了	悉夕析隙熄火
1000									
矩齋所學									

拂弗嶄艴・夫	木沐 目苜牧驀腔穆木	蜜密宓筧十	 	畢蹕謐邲壁壁弼碧乂	戌續く	入褥へ、	述術倏 †	日耳	室釋遊飾式載拭す	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
										E -

/ 省引之 医叉矢	或認涸豁霍藿八	間原構小	地 褒义	妾竊 +	恰 路也	月則倪閱閩軏域越手	嶽岳 野	 	葉業鄴謁掖液腋八	錦籥瘧い
野										
矩齋所 學							•			

栅红	虐父	· 诺文	駱洛心	涅孽泉闌聶舞躡八	列裂烈獵雖劣心	大小	納納納化	蠟雕辣 以	置達掃獺踏 4	60000000000000000000000000000000000000
										MIN MIN

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	穴恤郇蓄八	錯パ	側策冊 千	仄 尺 マ、	若弱入	肉印	熱川	設攝小	霎 煞 打	浙八
矩齋所學										

机五五、	邑人人	通用類	微夫	髮打	麥木	墨默脈狛末沫莫漠寞木	勃泐魄珀粕迫力	明は	滅十	10年、10年、10年
***		t			4					

、第子卷条	識なす。	露ナナ	的さる	滴マス	穀穀谷鵠鵑骨衣芥	襲息メメ	借义人	稷及鮨上土	激災撃ユユ	・偏人人
昌										, , ,
距齊所學	λ									

甲盔甲、以甲乙以	蛟らら	額ふく	撲 扑 オ オ	不十十十	劈头ジ	必以父父	曲曲折少歌曲少	速粟ック	*************************************	一角に、当まる

後日	意ング	塞丝幺	測形代刊	輝 が か	掛 代	札敦行行	郭八心	切、竹州	お ハ ハ
皇 距齊所恩									

膝 ベメン	捷棘上心	鶴末山	総ま\	殼山外	軍少氏	異讀類	法却找	八捌魃的以	撤少が	一上一作与資金

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	約孔孔孔	目的永	藥药八千	辱へへ	肅ホンク	夙餗觫束淑ポク	畜畜性及畜養外	程墨程ン姓か	勒トシワ	樂哀樂小禮樂八九八
良 矩齋所學										

(有) 是 美埃	投水力	陌秋六	百八八八	的が験	薛八八	卻鵲確碏火火	宿クク刈	率れ外	穡嗇澀瑟小公
》 担任									,
矩齋所學				,					

		•	•		 •		
* 4		•		,		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	在八門 清金
	÷.				•		公司中国的公司
							₫
	-						1.3
	ļ						· .

數義者稍以漢字為輔其中意義乃自無不周匝異日 今日為 簡字學堂江甯高等小學開學之期本部堂見來 學者之盛甚爲嘉慰夫各國人民文野程度以識字多夏 言而文言所不能傳者簡字得而傳之其有一 為比例吾國文字艱深曩者吳京卿擊甫東游時日本教 良法而不易推行官有文告而不能曉諭師儒有教育 育家嘗以爲言坐是之故以致識字者少風氣錮閉朝 兩江督部堂端甸帥江甯簡字學堂高等小學開學演說 能漏及自簡字出而人人無不識之字無不可達之語 文光緒三十四年正月二十四日 / 衛戸 後牙 ď 音而字涵 矩齊肵

課每日又不過四鐘四鐘之內且有賦課半鐘者以至短 還者見其車夫下女皆能看書報也當嘖嘖羨之其實彼 國義務教育名為五年近或欲改為六年而其窮苦下賤 能以漢譯簡而專習簡字。者乃得有書可讀有報可觀 國 小學諸生其人類能通漢文以能通漢文之人習簡字必 -之郵旣通而簡字實行之日卽將不遠吾國士夫東遊 人固非無入學一年二年卽輟者而其小學第一年功 地非為簡字實行地良以今日來學簡字諸生與高等 札飭所屬小學及高等小學添習簡字蓋將為簡字傳 人識字教育普及之基礎庶將於是乎在本部堂去

學成傳播之人也本部堂以此簡字學堂與高等小學同 之時凡貧民教育第須先識簡字字母後識漢字數百其 亦在有五十字母以賅眾音而已矣吾國簡字苟至實行 之時至簡之課而其人乃無不能識書能寫字其道何在 即能看書報凡一切教育皆可以施而其功則在今日 地故樂合言之如此 で育己 美子 是上 矩齊所學

					食厂门 黄生

京当廟之心各	イ孤 リ勢 了平呼	上基 计其某义希	七戈 山科 卡禾呵	く衣 五五島十一五	五十母音註	剞劂俾素操北音及特習官話者有以	中購求不易每有朋濟見詢無以應之	者以已有官話合聲字母原書也顧原	簡字以京音為原本余刻甯音吳音兩	京音簡字述略
各一年齋所學						官話者有以知其略焉	阎無以應之爰速此篇付諸	原書也顧原書板在京師南	留音吳音兩語而不及京音	桐鄉勞乃宣述

业	大学 フック 十書 入入弘	班 女 女 社 土 土 土 土 土 土	中徳 牛特 ン勒 イ訥 アル 地域 ン須
---	---------------	--	----------------------

全作清平讀之 一音於又下無字可音者註反切兩字讀時相同者即讀其字之音不再加註其所讀之音與之不 生工工程 一音於又下無字可音者註反切兩字讀時 一時 一時 一時 一時 一時 一時 一時 一時 一時 一
--

2 右上列十	儿兒脆	爺韌	し、因の	一安	了新舰	乙亢吹	恒殿	う気度	フ危瓶	
	儿	1	、し思い	一安	ה	九 映)」「歐	廛	ファ	THE PERSON AS
一韻各註所取筆畫之原字	儿兒儿耳		Γ,	一つ間	Ť	1. 昂 じ映	八偶	· 敖 、 禊	ブ	· 1
於下	ال <u>.</u> 	1	L,	一 按	7,	乙. 盎	恒) 。	ス	
於所讀之										

•

拼音錄拼音官話報 直隸總督推廣官話字母〇官話字母 分以れな そム、コナカれれなるオのかなるよ 字上平加點於左上下平加點於左下上聲加點於右 字讀時全作清平讀之下列四聲各上平下平上去四 則有此字者註無此字者不註可以類推而得也 音與之相同者即讀其字之音不再加註其所讀之音 與之不同者再加一音於又下無字可音者註反切兩 |去聲加點於右下上列十二韻全加音註下列四聲 ずかれてたずわりくい /元新新子姓各 Ξ 為的是呌人 立れがくかけ 奴工水山即作 矩齊所學 都

ぐかな ДL 〈學會嘞 人(打生和打日 隸總督袁宮保 二十 到 語 れけないマスか先 V **逃都能勢通話辦事情** 如今各省推行 入れた打切り 學會嘍看看拼音的書報 使全國的言語歸成 かなりやや見れてずり 馬子前二三五 行りかないすり 11行川下公色 札飭提學司 ぐり付けりなない され究 律 況 見代けたい 專設此項字 たれ 干丸 マオ外 一十天半月就 上にはなれ 就能彀長多少 無論那 現在 X

堂 與語言 無取艱深 五少山北 為札飭事 奴绍州木 チナケ 我 們把那札子的原竟 丸切がな 業經飭令保定蒙養.....及半日學堂 相為表裏 **乙分松化**则 前據大學堂學生何鳳華等 山川、村川八和江江上(下日八七 照得教育普及 **や尺行公也公打す打切打** ひけ ルチギナ 六百割字心各 故開通多人智識 水中均利則る水 ,公五七七……又儿才么心 必先統 寫在後灣 ムルガくチケ 語言 Ħ 稟請試辦官 灯打すい 但求簡易 大家瞧瞧 たせいく 矩齋斯 試行 t 切 六 儿外又 而文字

1 と と は	一律學習 由該司通飭遵行 合行札飭 札到該司く口公外 はやと均川之以 されび川 おりかと	安議籌辦 其師範及各小學堂 應如何附入課程式人川片 计(对打工人(以外犯 以入,才夫入山以	轉筋學務總董 林紳兆漢 卞紳與
---------	--	---	-----------------

雜識

官話字母原書五十母次第繪有 圖其條理自有用意

然不甚分明故其書中又有文氏依國書字頭別定之次 加 亦未盡自然今按等韻之理別定此第取其易讀易記

於原書仍無出入

字レ字等皆不加點實字之隨口帶說者如事情之情之 話語助如的字嘞字之類其音輕略無四聲可指故 Z

類亦不加點

兩字如一塊兒原文兒後邊兒等語其兒字皆與上字相 官話有帶兒字言者兒字與上一字合爲一音不能分作 7.元子育」上作一各 矩僚所學

堂名之類皆上下加括弧緣籣字有音無義必加此各等 字亦隨處不同如同一一字一律之一 連不分故用|三拼之法作欠先先當合讀爲| 拼音官話各書報皆分別句讀句隔一 之及讀為下平及各小學堂之及則讀為去聲之類其作 京音人聲有讀作平聲者有讀作上去者各字不同且 符號以醒眉目乃免混淆用簡字者皆當法之 點隨處而異此京音特別之處不可不知 叉於地名旁加雙直人名旁加單直各項名詞如官名學 則讀爲去聲一 五一段行政 一塊兒之一叉讀爲下平同一 一讀爲上平 字讀則聯以細 音 及字普及 一省之 點

言之表識也古籀而小篆篆而隸隸而眞行人事降而愈 藏字者多則民智智則强識字者少則民愚愚則弱强弱 繁則文字趨而愈簡自然之勢也今之字比之古籀篆隸 固為簡矣而比之東两各國猶繁何也彼主聲此主形也 易日上古結繩而治後世聖人易之以書契百官以治萬 之攸分非以文字之難易為之本哉然則今日而圖自强 彼之字易識故識字之人多我之字難識故識字之人少 民以察古之人先有語言後有文字文字者所以為記語 形則字多字多則識之難主聲則字少字少則識之易 簡易其文字不為功矣簡字之興萌劳於京師漸傳於 ŧ 矩齋所學

質於世於教育普及之方語言統一之道或不無小補 爾光緒三十三年丁未冬十一月桐鄉勞乃宣序 **夹音兩譜猶未能及閩廣則全國之音猶爲未備閒與一** 幅員遼廓欲徧及之猶不易也而吾於北音外增訂甯音 北洋而南洋始登奏案今江皖蘇浙稍稍廣播矣顧吾 同文之域諸方之音舉括於內乃足爲推行全國之權 知已私相討論咸謂必合五音母韻統爲全譜使中國 固陋以向所考定等韻為本訂為籣字全譜一 ノド 繉 國

也 諸音各配以簡字列而為諸凡吾中國同文之域其語 字全譜例言 處方音考中國之音有二十九母有清濁有四等有 聲余加六母三韻| 字始於京師之官話字母先有京音五十毋古 | 攝有次音有餘音四聲亦有淸濁雖各方互有出 韻 方不能全備而必全備乃能該括諸方之音令舉此 不備於此者故謂之全譜所以統一 濁音之號為吳音 入聲之號爲甯音 譜願猶未足以括中國 全國之語 一譜又 短磨所學

中 全譜包括全國語音而一 等處無濁母江北裏下河卽有之蘇常無濁上 廣平山西即有之直隸無輕脣徽母山東即有之江軍 國語音分類北音為一 如京音不分光團保定等處即分之京保等處無人聲 母韻人人全習為人人皆習官話計也 者列於前繁者列於後後包乎前繁賅乎簡俾京音 類界乎南北之閒吳音為一 於全譜中取之今列為京音甯音吳音閩廣音四譜 類又加信屈馬大略如此而一州 處不能全用當各就其音之所 類中原各處大概相似甯音為 類純 平南音閩廣音為 縣又各有異同 嘉湖

京音等四譜俱於全譜中取出應用之字其不用者**不**列 四譜之後列 明 所以示全國語音有相互而無相悖也 取諸全譜以盆之全譜包括諸處方音無不備也 有之蘇杭等處無閉口韻温州等處即有之南方庚青 而仍列空圈以存其位使於全譜條理不紊脈絡可 四譜但分大界各處當以一譜為主而再就方音所有 與眞文不分紹與卽分之諸如此類微細分別甚多此 譜將五音四類四等重輕清濁陰陽等名目一二 三十六毋三千韻一 **~** 引 百十六母分配古母二十韻分配韻部各 ì 相配皆韻學家精義節字雖 矩齊所學 標

	 一 各 請 及 筋 字 兼 録 諸 書 問 者 幸 参 考 之 此 編 為 通 國 統 一 全 谐 但 舉 其 大 概 其 詳 別 見 増 訂 重 訂 	以隅反,身子竟与主歹用为书子之并得不言	譜後列拼音白話四種以明用法各用京師江甯蘇州廣	知簡字之條理也	流溯源得以上窺等韻之奧亦使知韻學者一覽而可	淺近與等韻之學實相貫通著此兩譜所以使學者循	10
معاشده وعالدي الأناف	重訂	7年10日	外质		而可	者循	

	学 が よ 様	十 師 ス 低	下	本 新 メ 希	+	大師 上基	Z	音	一百十六毋	簡字全譜	17.5
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	土鳥土	ナ都	艻	う 呼	1]	为	五鳥				
t taken	ラ 前梯	白俞低	今	ク虚	サ區	ア 居	于近				
†			•							, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
-										1	
矩齋所學											

B	计師	川虽	そ 支	手	X	不 統	土知	イ	V	
ろ	七伊施	坐 伊蚩	ラ 伊支	た	*	承 伊絲	午 伊知	٤	A	
 	十書	刀	计諸	专	ŧ	鸡 鳥締	为	ヌ	ょ	簡子全部
女	平俞書	戶偷樞	少俞裕	7	史	上 攄	み 介発	女	D	至誰
	,			ļ						
The second secon										
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										
								,	·	-

g.	计算	梦	rp"	产	る 師後	ろ 師百	H	幺絲	千雌	で、次日
	争伊孚	义	+	老	文披	丛伊必	為	ア西	多妻	夕齊
割され	ク敷	个	才	チ	才鋪	ト 逋	*	ク蘇	ア 粗	二型
全雄	久 俞孚	庐	广	卖	支俞拔	力 俞卑	タ	ス領	ク趨	D 植,
	:	•								**
11						į				
矩齋所學								:		
斯										

净	计師特	·子 師雅	寸 師劾	भ	八 師錫	ン 師伯	濁音	专	カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
公	で題	下疑	•	计	山奇	く移	耳	牙	乙飛	
土	ーナ し 徒	开吾	· 4	ηĴ	る奏	垃 烏帷		Ŧ	また	自当
ヺ	台題	今無	グ介令	4	ア	于俞		女	夫俞夫	741 41B
		Ē								
										1 1
										į is

		يعبغ جبانته		يدر زيند عدا						
	脚景	** 特 	भार	-	· 子	北	矛	上 池	イの監	師勒
	る	、 七 伊明 	坐	一方	え え に 	ነ . • ታ ፤	净	·子伊池	北	
開江山	烏如	片蜀	カ	计维	与军	七	湾	る場合	又奴	
施耳	少如	中侏	卢	少组	イ神	少	占	る 家除	女俞泥	四間
1.1										
矩										

-3	万	、IP 師墨	尹	3	汚臓	小小	·名祠	干	マ慈	
净	必	十 縻	老	文	上皮	內	プ 伊席	3	· 夕	
ゥ	个	 ・ オ 模	ナ	才	・ト	沙	ク島俗	ァ	二祖	信いて
·今	办	デ	吏	文	冷 前皮	少	- ス - 徐	カ	迎 值	百言
			, 					 		
										-
			- SAACTON	.	, www.					Ć.

	乙映. 7輪)廛		一哀フ煙		了 阿 人 俄	二十韻	考 無 步無	口節 飞符
南子 白蜡	とひと	ごごう	うい	レン・	一一一	けいいいい	プブスジ	四聲	チ無、英無	ナ _扶 支符
1 年 新	كايدانو	マケデ	`] `] .	ファブスプ	ファスプ	バンバン	, 4,5 C.C.			

安南音	丁 行		奢 厄		も ・ ・ を を が れ に の に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 。		一安北音		4- 41
ナナイボで	ナナナド	1.7.1	111	きももも	もももも	,	111	乙でこ	1. 1.1. 1.1. 1.1. 1.1. 1.1. 1.1. 1.1.
				ラブラブ	ララララ	ルデー	してし	コブゴ	A

	り姆南音		ケ你南音		少 臭繭音		凡兒		グ延	
第三 ご始	カガサ	かずか	ケゲケ	出出立	ユニュ	ルルル	ルルル	ラブラ	333	ノソソハ
Ē										
短索所學										

カカカ

右清濁各

288

濁讀時全作清平讀之註南音者拔蘇音讀四聲各分 乎輕音以取其重音者亦可比類而知韻之音有清有 音切清有而濁無濁有而淸無者各註其一可以互

推

又有清濁皆無字可音比類乎重音以取其輕音比類

用一字清母無點燭母左加

點清濁皆有字者各註

有字可音者用直音無字可音者用反切清毋燭毋同

略備於此今以簡字列為全譜其母韻各註音讀於下

之域雖方音各殊而其喉鼻舌齒脣發而爲母韻聲者

百十六母二十韻淸濁各四聲中國同交

	0	0	. 0	0	イ納	り勤	华		0	本 呵	
	0	0	0	0	ב	۸		Z	0	×	
£. '	0	0	0	0	又	ょ	土	ナ	0	3	
	0	0	0	0	女	D	0	0	0	3	7000
			; 				! 1 			! ! !	Falk Liv
,	1	- 	<u>.</u>					 		*.	*
The second	,			}							
And the state of the state of	*		, ,								
A STATE OF THE PARTY OF THE PAR											
	-		,	\ \ \ \ \ \	-		1				
the second second second				*							
1			<u> </u>	<u> </u>	<u>. </u>	1			<u> </u>		

0	0	0	丝	干	7	日	寸	ग्रार	4
ኃ	又	0	0	0	0	0	0	0	0
丰	F	0	7	5	<u>-</u>	`~	ャ	D	†
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						•			
	文 才 O	カ ナ ・ ・ ・	女 ト 〇	立上のクの	女とのクケーの	女とのクケー	女トのクケーへ	カト 0 0 0 0 0 0 1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	女とののののののかかかりのかりのである。

)		3	京音	O	Ö	0	0	0	0	
Te .		,	育十一	0	0	0	0	+	0	
	7	V	韻	0	チ	0	0	オ	0	
				0	0	0	0	0	0	作 与
こうご		了了づ了	四聲							存前
`	フフブフ	(6.66								

矩廚所勢	k.	一門の一名中門	
		0000	0
		0000	0
		ルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルル	ル
		0000	0
		0000	O
		0000	0
		命	
0 0	0		0
L L,	رُيد لدر	レンファイ	>
7.	֖֖֖֖֖֖֖֓֞֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	てて	乙
			Ī

٤

	0	0	0	イ訥	レ 勒	牛特	中海	0	+	4
	0	0	0	E	ム	L 1.5	徳	0	 	H
	0	0	0	ヌ	x	土	ナ	0	3	1]
1000	0	0	0	女	口	0	0	0	1	サ
加速位										
A I									-	
										ŕ
Ն							l			
矩						:				
矩齋所學										
玊				1						ļ:

0	0	2	7	7	B	**	λl	名	O _s	
火	0	5	3	9	0	0	0	0	0	
 	0	7	厂	=	^	†	Ŋ	†	0	
0	0	ス	为	ட	0	0	0	0	0	f l
		<u> </u>								作与台前
	<u> </u> -							 		Ā
								<u> </u>		1
										,

在曾	F)			1
ーーーーファブスプ		7	7	
プラグスペ ノノンノン	!	*		7
五聲		韻	音十五	宵
	0	0	0	0
	0	ŧ	O	0
	0	0	0	0
	ဂ	0	0	O
	0	才	+	0
	0	0	0	0
6,3	٥	‡	为	0 l

E.	一角ら	第5、名音	
J	}	うつつ	;
乙	7	といいい	いいいい
>	L	11,15	لدلة إب لر
0	0	0000	0000
1		1111	
0		0000	
1		ソノノス	
3		す 3、33、	
几		九儿儿儿	
7		コユニュス	

		_								
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	清母	吳音六十三一毋	分淸濁兩行亦同京音	有入之韻直列淸平濁平上去入五聲	濁不另列濁母與京音皆同聲則比京	與全譜同讀者不加註異讀者別加音	音多六母三韻一聲亦有音者列實字	右甯音五十六母十五韻五聲亦於全	0000	0000
<u>+</u>	,			聲餘和	尔音	自註母		全譜山		
矩齊所學		•	•	餘列四聲其不	音多一入聲故	註毋亦不分清	無音者列空圈	譜中取出比京		
學				不	故	清	圈	京		

င	イ ヒ	レム	华忒	十徳ス	+	す。黒メ		七扇上	く	
0	ヌ	ょ	土	ナ	æ	\$	1]	3	五	
0	女	100	0	()	0	1	屮	P	于	の節とこと
				:	i					Ä
0	イ納	ンが	牛	计	•		내	أسير	0	
0		・ム	.5	・マ	1	水メ	·++	・一番	_	
0	汉		1	ナ	·韦	i	-1]		立	
0	女	.12	0	0	0	.5	4	.P	·Ŧ	!
						 				Ì
*1										

	星	干	7	B	才	川	4	0	0	0
	ァ	3	9	0	0	0	0	0	0	0
	ク	r	-	>	ナ	71	†	0	0	0
日本コン IN LE	ス	カ	л	0	0	0	0	0	0	0
A. Section of	必	干	ッマ	ម	才	ગા	·₹	0	0	0
WHITE TO PERSONAL SPACE	ゾ	ョ	夕	0	0	0	0	0	0	0
}*	ウ	1	ij	>	.†	n	寸	0	0	0
=	汉	カ	丑	0	0	0	0	0	0	0
矩齊所學										

吳	0	2	()	J	क	0	3	万	0,,	7
音十二	0	弗飞		3	+	0	及	自火	0	
前	O	ナ	0	0	オ	Э	扌	 	0	
	0	0	0	ပ	0	O	0	0	Q	2,
清濁						!			:	
八聲)	一佛	0	0	.TP	0	冯	5	0	
	0	·Z.	0	0	·十 ^二	0	·史	火	0	
	0	チ	0	0	オ	0	才	+	0	
	0	၁	0	0	0)	0	ာ	0	
.									1	
										5

			乙)		_		3	
	<u>L</u>		1			•	1			
がある									1	
	'	泛	乙	3	J	 	-	:3	' 3	
وسده پرسو	·}	乙乙	てひて	いんい),),	, <u></u>		ひがない	うざみず	
								_	1	
上 : 化 : 化	1,1	コブホ	ブブフ	; 1 1.	,	ファス		1.7.7		
矩齊所恩],	J ,			ブ	ブ	ゾン	ゾン	
所		1							,	

***	ず		ノ		す		/		0 0	
アラス	ラ ブラス	ジッツ・ノ、	ソノス	江江江江	ナブエア	1.7.1	9-7-5	0000	0000	管理 ろう可
								0000	0000	1

齋列 中 昕 實 取	19万户普 归 矩齊玩	比甯音叉多七母三韻一濁音之號仍有音者列實字	右吳音六十三毋十八韻清濁八聲仍於全譜中取	14.4.	4	ナイケ	ケケケケ	シュン	ユンジュ、	ソし、	儿儿儿儿	
---------------	-------------	-----------------------	----------------------	-------	---	-----	------	-----	-------	-----	------	--

	才!		P		,				i	
			和							メ
	专	0	存	3	又	上	土	ナ	五	3
利の	7	0	上。	豕	女	D	0	0	0	3
一白姜									[]	
A	Ŧ	•	*	L			.1.		 	*
. 1			t .		1		ſ	I	į.	1 1
·	济	O	净	步	٠Ł	.4	汇	·Z	0	k .
<u> </u>	诗	Ó	鸡	る	叉	×	土	ナ	· 无	.3
Z Te	牙	0	上	承	女	Ġ.	0	ဂ	C	1
矩齊	•					!	! !			
所學			;			,				

	3	ち	0	4	干	7	Ð	才	ΉL	々	
	支	又	0	ァ	3	9	ろ	也	出	ょ	
3		F	0	ク	5	=	>	ャ	n	†	
	0	0	0	又	カ	Д	女	中	F	少	か与え
											1,4,1
	习	丏	0	业	干	.7	审	寸	11¢	*4	
	块	火	0	ブ	·B	9	ッち	池	业	步	
**************************************	才	+	0	ク	ナ	二	>	*	刀	न	1
	0	0	0	又	力	11	火	中	卢	少	<u>₹</u>
AND NOTE OF	E										
BUTTO BEST											

			3	閩	0	2	0	0	P	0
				廣音	0	飞	0	0	+	ပ
	1		7	一十韻	0	チ	0	ပ	才	O
				职	0	0	0	O	0	0
一个	7 7	ない	ンプン	清濁	0	1)	0	0	મ	0
	چ ^{يدس} زيدس	スプ	うかかか	八聲	0	飞	0	0	+	0
ı,	ブ	.1	• 1		0	ナ	0	2	才	0
	ブ	1.1.	7,77		O	ာ	0	0	C	0
坦齊 斯學	スプ	17	Y			م				

•
<u> </u>
Ì
<u> </u>

たりと 全並目	5 5 5	火ルル	儿儿儿儿儿儿儿儿儿	ジッス	ラブス	ノンソ	ノング人	ブボボ	丁ブボボ	
rt T										
矩齊所學	J					ñ				

以上全譜一京音甯音吳音閩廣音譜四全譜者包括	讀之毋與韻皆別淸濁與吳音同	列空圈與前皆同音註與全譜及吳音同而以閩廣音	出比吳音叉多二十母二韻其有音者列實字無音者	右閩廣音八十三母二十韻淸濁八聲俱於全譜中取	かかが	4 4 4 4	かがか	ケケケケ		(合いと、と)合い
-----------------------	---------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----	---------	-----	------	--	-----------

~

次之故比北方多入聲江以南又次之故又多獨母邊 趨於簡北方為古中原地開化最早故聲音最簡南方 甯屬及安徽各屬之音皆相近吳音者以蘇州之音為 聲最少甯音以下逐漸加多聲音之道開化愈久則愈 主凡蘇省之蘇屬及浙江各屬之音皆相近閩廣音者 以閩廣省城之音為主而各屬之音皆相近京音母韻 山東山西河南陝甘湖廣江西四川廣西雲貴以及東 中國全國之音者也京音者以京師之音為主凡直隸 省叉次之故又多舌上母閉口韻此其大概也而各處 三省之音皆相近甯音者以江甯之音爲主凡蘇省之 / 衝子 全普 ţ 矩齋所學

最簡欲統一 **滅何也為統一 跃互有損益有增即當有減今四譜逐漸加多有增無** 天下語言當以京師為主是以增而不城 語言計也京師為四方之極又其聲音

使京音之母韻聲人人全習 效其口吻卽能通應矣

百十六母分配古母

口齒口

淸

齊 合 撮 濁

日當日日撮

314

	輕舌				重舌				鼻	喉
	知	清泥之	清來	透	端	清疑	曉	溪	見	影
第四户背	生生为不	イヒヌ女	レムとロ	牛亡土岁	十乙ナド	千下五名	キメ らク	リナリナ	入上万户	レく五 于
Section we	澄	泥	來	濁透	定	疑	匣	濁溪	羣	输
五年	上午另及	イヒス女	小公七 中	母心止岁	叶江十七	于下万名	オメイク	山井川少	ベルグア	上く立于
矩齊所學	戛音	捺音	轢音	透音	戛音	奈音	轢音	透音	戞音	•

			輕齒				重齒			1 1 1 1	
Section 1	心	清	精	清日之	審	穿	照	清孃	輕來	徹	
	セブル	干ヨ厂	マタニ	日乃入	才也中	川	そちナ	十元专不	とかよ	布不存山	作らっと
THE CONTRACTOR OF THE PARTY OF	クス		İ				!	才纏			と言語
THE RESERVE OF THE PARTY OF		一之		‡ ‡	<u> </u>	之	, I	! !	之	一之	,
東京の第一次は対しませいまた。これは、教	セリクス	ナヨアカ	夕二	>>	1 1	川业切下	マラナタ	宁天专 了	北少 上中	中不乃上	*
CART TANKE BELLEVILLE TO SEE STATE	轢音	透音	夏音	捺音	轢音	透音	夏音	捺音	轢音	透音	

	二十韻				輕脣				重層	4
	韻分配韻	清微之	非	敷	輕幫之	清明 之	重非	滂	幫	輕日清之
》 題子 全背	部字母配支	亏牛乒乓	口飞步走	うずかな	对处不 中	中十十十	上七十大	多义才女	万山十九	日內以外
	微無	微	奉	燭敷	 輕 欄之	明	重非獨之	濁傍	並	軽日之
1 E	虞齊韻	巧坪好	口飞少夫	宁字内分	矛名小少	ヤナオナ	少无少夫	写义才安	万以十六	丹 名 >>>
矩齋所學			轢音		夏音	捺音	轢音	透音	戛音	捺音

第一了	第一百 十六 即 括	透轢捺瓜	古輕舌電	人生之音	脣餘音	舌齒餘音	鼻餘音	喉餘音	又
「富子」と普」	多一百十六節字二去四等分於母校十六郎括於其內二十九母又各分開	轢捺四類為二十九毋合淸濁為五	舌輕舌重齒輕齒重骨輕脣入音喉惟	人生之音發於喉鼻舌齒骨毋韻皆然	IJ	ケ	2	Ju	
と言うなみずり	7年アミチ女児 7年 7年 7年 7年 7年 7年 7年 7年 7年 7年 7年 7年 7年	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 二 五 五 五	型 脣入音 喉惟	図 骨 毋 韻 皆 然					ジラ元先
V/1	高声蜀谷一百	十八母古母三	一類餘皆分戛	母則分除鼻重					

The state of the s
拼音白話
之理馬
者可因以知簡字之音習簡字者亦可因以知古母韻
十為學者所共知今以簡字各分配之則本明古母韻
四聲中國同文之音包括無遺矣古母三十六韻部三
四餘音故為二十韻綜此一百十六母二十韻再合以
即喉一部下聲韻惟用十二攝而次音用者有四加以
十卽括於其內六部又各有次音餘音簡字之法字母
部部各分陰陽喉一部又有下聲是為十三攝韻部三
十六母韻則分喉音三部鼻與舌齒與脣各一部為六
1111 12 12 12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13

かれれる	不是当	 透镜啦	 八	列位啊	八、切了	勸人	炉マ日上	京話
えなり	不是皆門银日本丁勒一上水やれれいほに行と	早些年的事	ガルなるす	偕們 各人	公礼六儿	自强說	ルマれれ	
ÆL ₁ ¨	打物一文馬	事 不用提	寸 上打心	惛們各人都要覽强罷	公礼六明刊以犹比行			*,
四月	退域が	就打	小村	瞧瞧	# }			
11年 東京所学 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11	高 装 著 高 理 切 よ れ り ム	甲午那年說起	以五亿公代	儋們中國成甚	で札打払川			
7			#	甚	扎			

-	錯	7			様	12	1jk	Z	127	
々凡スレビり	洲	' \		,,	雙也跟人家學	经	地	-	没想到這	
	- -		弘	1	12	11.	مدو	1	亚	
? ;	可	۲	走	本	联	t	賠	17	到	١.
V	惜	X,	變	灯	人	ĄL]人	ĦL	這	И
ガ	嚷	时之	著	<i>I</i> £	家	13	家	13		
ן נינ	骧	工程	诗	邦	趣	礼非巧以	好	41	仗	
	情襲襲得有艷	以 以 配 比 上	就是變著遺各人	本公刊起六		110	人家好些	此的打入		1
が八十十八八八八	右	1	Ϊ́Λ Ι	ום	-	扒	纽	7)	╁	1
ן עב	勁)]	西	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	即日		銀子	小小	就	-
7	兒	九	要强	した	疋	ホ かガマ	丁	A?	提	11 11 11
7	عد		姓	HZ.	樊	X-	P. EE		惛	
++	业	77		•	法	打	穐	大	們	.
幻	没	力化	好	4)	說是變法自强	7,	算	クマ	打	
计	怎	7	敵	Z	强	HZ	拉	Vi	虧	
+\	麽	扒	得	i)		幾 算拉倒	大欠的代	左	
	並沒怎麽樣	₹Ζ.	好敵得住	 -	清	47	1-3	' W	把偺們打虧空啦	
2	10)	, w.		ומ	品	Ý	抽	12	, <u>7</u> 74.	
型型	歩	<i>\</i>	人家	打工十十十日	27	奴么上	轉過賃來	1,	-2-44	
1 1	索性	公	抓	7)	凰	7	型	31	读] =
和妃	性	7 7		,	子	7,	夷	妃		
丸心	怎	a/	王	1.7	怎	7L	來	F	家	
	惹得	灯孔十	意	べなす	麽	てて北れば			好	
术	外	女	是	才	講	17	調	7)	些	
秋	國	外	主意是不	Ţ	這四箇字怎麽講呢	Ŀ	調著、	/作	讓人家好些箇	

がれ かれぞががた	前三年 日本跟俄	十分七 月代北人	哪 你們大家鼈想想	行 どれ打り死化	嘍 這場大窟窿	山 红肥村川村	好容易纔說和平嘞	ガなくたれま対し	聯軍入嘞北京 趕
おれにつてる死 八九 パトグか	羅斯在我們東三省那體開仗	代名 不战机为处村保护中记	想 這苦子 誰擱得住哇 所以	忆 切り刀 切六十去好 外ぐ	要一直到光緒六十六年纔塡滿啦	ひくるれれ人外は外に下いれい	哆 前帳未清 可又套上新債	本 比红红的 山外机机	據得七零八落 死走逃亡 末鐘

城北 十六二	你 是不得 笑	计八十 以	去就結啦 可	サルルい い	誰輸啦贏啦	力十万门门	著這邊 也不	代奴先 八十	我們中國只好	
以び代マル	不得	大十 それ	自覺還跐著文說	マヤヤヤれ	由著他們售	り八十七な	也不准向著那邊	北北九八八次	好找箇沒蒼蠅	多与白岩
りで打死とい	直開到眼下 浩	りかれる	ŀ	九九代 打打	們覧打去 反正	犯打り おい	2 也別添油	八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	的地寫	
之則以松了	還是嘴說自强	たオブれる	守中立 寝	ガム、一	止豁出那塊	幻八刀仅小	世 也别撥燈	1) 八公月	躲著 也不	7 =
31	强	忆	眞叫	孔上	地庭	えれ.	燈	竹	許偏	

_						-				
	才上	民政	礼行	嬌	炎レ	怎麽	化礼	人說	肌代	自强
	۵,	部	ト	嗎	オ3	怎麼見得呢	小十	從	Ĭ.	可
新	ム七凡上	寫的是	奴とナ	什麽改外	れれて	他	上山	從遷往後	弘立!	是
第2 台語	12	的是講究保	乙才に川		力-	說	打代ビ	7 再 瞧	れてり	可是淨會說自强
古.	1]	衞	以以	務部	† ,	時 中	刊	可	4	强
	从 以凡五	内政	亿行.	為的具	切るオ	國如今	なくに	就要眞正的	小り礼	倒底那
ļ	٠ ٨	立學	ム公	的是講究	九七二	不	4	具正的	ひりて	那鹭儿
	牝丸	部	k	辨理	トム	是	本女	自强了	マ、忆	人家强
矩齋所學	F	講究教	北川	外交	五,	外夏都改嘞	女が出か	•	(A	强啊
學	れ、	教育	土	設	机	以嘞	し	我說	八十八	有

All of the long party				eb.1	1		
九馬打宣	12		ا نِ ا	判	4.	普及	
講	12,	興	灯	廳	7	及	1
上 這 礼		Ι.	オゴ	'	1	i '	1
は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '	藝	•	講究改良審問	17		
14 公司	,	宝"		門	17		
「 現 大	, 3 1			孔	ri	空	_
大領 天 直 以 備 以 元 説 罷	* }	振商	礼机	改	1 2	立陸軍部	
1、立 ム 罷	17	A	17	É	AZ	部	
北憲太	1 7	務	五	绿	北) 	育と できる
まる。本人に	1 1	17)	17,	田	44		3
垣	. ₹ / .			案	, -3	再	Ś
忧 講 江 些	1x	修	X		ł	講究	Ē
で 講 近 当 選 当 選 当 選 選 当 選 選	17	鐵	17	並	. 4	練	1
カー 州 フ 様	佐	路	4,	法		341	
1 地 ス 護	75	斑	٠,	144	打	自定	
万九		_ !		俘	D,	車	-
地方なる。	1 ,	並	人	律學堂	1	習軍務	
治人、都	H'I	確	47	堂	机	1	ļ
I N I	-+	一礦局	F				ı i
五 是	本.	/PJ	, ,	1.44	ا ا	立	=
1177 4 日	7.		١ .	满	17	探訪	E
	HZ.	開	4~	完]]	訪	1
(べ議し、的	12	報	7)	修	ΧÌ	局	,
13局户大	17	•	1 %		77 j) - 1	!
	'ग },	館	1	訂文	27,	٠	} ,
節	17/				九	37	}
11 (存) 日 目	末	設	*	明	力	審	'

鼈得盼 就這們挨挨耗耗 **がけれっち的れいかり** 說這不是不久就可以强起 リハれ ニー はお 老太后這們大年紀 り先引入れれい上 我們靠著國家 以れりれなら o大清國快强嘍 一一一一一 约约林 也眞不是頑驚曉 外以八川八江北北江江 八孔上木かた竹 不礼引本的以此的时で扎 人以 家也靠著我們大家覧 心心念念 火し とつ: 我們也好過太平日子 來嘞嗎 出れべばれれれ知見了 打全 机不礼打巧 我說我也巴不能 ド本近人代以 可是我又說啦 班齊听學 現今の

	「人会に	ヺ
	厂 已 分	F
	ら二代	珍
	話	江甯話
統要箇强 別淨說得好聽	統要	著 精神
切以大地 处以八十岁的		大口水
依我	去喇叭	將就下去嘞哪
人人以代 大明川死物刀如外上	リスルレイ	といれ
霓 壁受嘞一百多年的。皇恩 怎麼會不疼不癢的	動 三云	覧 壁 受
妃村引レルド代いるのなし、孔れ以上物上でる	レルジ	妃们引
氣 偕們都是他老人家達子民	争争氣	要箇强
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		

- 25		سام بين بي شو	بحنيني					4	•	
	邊	义3	子	7		÷				4
T.	就	þ	上	北	1	4)	臣	红	箇	41
	ズ	(-)		, _	幣	W	長略	1/1	7	BL
	能	方	搲	夕、		7	<u> </u>	战	部	外
	小能走	7	上	红	倴	Lì	兩箇		就有	
	压	\ \ \	就長略	76	箇右手	VV.	凹	* \	1)	
	<u></u>	,	爭	V	皇		腳	PK	ا معبد ا	
第二人皆	小	100		4	于	1			箇身子	れれて
T	能	1.	箇左	41			要	3),	身	九
	動	カ、	左	1/2	這箇	3/	要是	なん	子	7)
背	不	4	腳	PK	箇	! 	-	1		100 m
	能走的	化			人	见之	簡	14		دع
:	走	₹]	小	杉	的	7.	箇身子	れれず	笛	1
	的	2	少略	١,	的石	١١	学	750	箇身子	4 1
İ	À	耴		12	邊	12	 	47		A) L
) ノ 、 。 	14(6	松	Li	古化	×7		拉。	T	れれずれ
;	 ♦ ≟•) \	箇右	11	就不	9		, ,	上	지식
ا	這	2		4].		1	规	9		
Ē	箇	1	腳	P	FE.	1	長	外、行	就	夕、『
-	人	H			能動	ルカ	就長略		就長略	タして
矩	就	夕.	這	{\				と	咯	N
黨	成	ML	這箇	14		4	笛	1,	顽	心
肵	略	N.	人	EL	笛	14	是	=10	笜	よし
矩齋所學	成略殘	3-	右	71	簡身	4)	箇左手	村	兩箇王	りていないれれ
<u> </u>	72.	14	<u> </u>	N		묐느		A	J	A

王意來 的 明明有 2-儿 救他 礼げ八 HL | 來就 打 い外木をお 腳 保全他的手腳 你 是殘廢 外太打 がむひれ 就是他的 們看見殘廢的 机 **化场和权益** 户人 腳 不自在 トスで 尸 人從養下 爹媽也署法 即门になる 好好以好女儿八八八八十 偏偏替他女兒裹腳 HL かマル 地來 むでひむぐれいれ 他的爹媽 總以為可憐 いまれれいか 以為他的 くかむひん 定要想 明明有手 的 並署法

/ 管引空, 公益相	日子還好 要是遇著兵荒的時候	中で大打 以本去代处化では打	來 做不過人 走起路來 走不過人	かりしん トイサル かかしか た	是裹成一雙好小腳 四肢倒有兩肢受咯傷	オ水ルぐれおが八 とそれいんとれ	减要女兒腳兒裹得小 不顧他的女兒	ぐい女儿八八八八小八 トかむで女	裹得他女兒爹爹媽媽的叫 他的	水切物女儿入入打打之以 的力
丰	跑也跑	おべい	入	ΒĹ	受略	W	女見	女儿	他的爹媽也了	牧卫八打
矩齊所學	 	わかれ	過著太平	大八十	飯	龙二、	疼不疼	北上北	4) 1	バトリ
	走	7]	平的	处で	起事	世之	就	9	由分說	扎代

國婦女們 が夫女れ 麼 1 走動動 來生下兒女來 い乳以儿女に けいおれれひじみ 從前髮腳的苦處 七川ぐれ打双 豈不把箇性命 ぐれが八でけ八九が ザーはが八九 已經裹腳的把腳放了 TOTAL CITY 椿好處 身子也就强了 私マバ外地が 婦女不裹腳 夫女とれ八八 脫的乾乾淨淨 北戸やかんん 白白的丟掉麽 ひひでれひ 强種的法子 打水火飞河上水 **署裹腳的總不** れマツルれ 身子必定强 水 豈不快活 勘我 火

	T.A.	.)-1		t	。连	1	陆打	J. 7.	,	
クゼ	101	此	件		焼ケ焼	74	光	71/2	水木	
144)	阿	T	儘	处) -Fr	70	點過過念	ジベス	禁	
, F.	曉	X)	管	(A)	、	(1)	週	4.		
	得	1 th.	哩	7			週	<i>3</i> .		
外	官	31	禁	إلم	挑	2)	念	北久	塔	
17	騰	ナと	鴻	13	生	ا يهد .			刮	
から	要	中が大い	哩禁鴉片煙	北行妖子	行姚	S)	旗	刘	子	食
j'	開	4	煙	4	1/2		有	XI,	区	=
ラ	官	3)	f	1	蘇	7	壓	72	得	1
11/2	得自嘴要開官膏局哉	11	像然倒難弗然哩个	{ \% ***	蘇膏廣膏	クもなり	就有縣弗大便當	び一切がれ	子關得乾乾淨淨	金リニ・ハコロ
はかった		七八十	鉄	灯红竹个	声	. ∀ ∀	华	147	中山) ji
•	温	7 V	1835	Z 4	厚意	12°	压		型	
3	PX	. 4-	地	11	育	41	火	X	护	€
如机	-4 ₂ 1-2	1	難	1	M.R.		角	中乙	押	
17.	若	用子	先	ر در ا	康	1.5.				*
シシ	說	加	然	コダムヤ	陳青清高	かずれか	有銅錐	P(I)	無	-
とフィ	開子	나-	厘	24	清	扎	銅	力	銅	ĺ
	子	7	小	70	膏	4)	錐	13	銅錢生	=
3)	官	31			, ,		酸	مبل	4	
رند	臺	12)	弗		闔	.21	À	t.	Å	
.pl	局	, 12	411	14	亂喫	#7		 		
		' / \ i	岩	ملا	·/	17%	唇	2.1	ਜ ਸ਼	
3	吃	77-4	種	1	奄	1 X	原是	刻,	灰	
		11/	/里	11	177	<u> 137.</u>	(本	1,2,	心	

マークで	哲説的吉町かれる	撥哩鳴查著	が以代以な	煙ケ人 弗	ラヤル	矩 弗管由	アゴがか	煙ケ人 就
行打打打打打打	是去兆	馬上	公文 打打八	准自家煎取	北口竹好行	中國土 外層	沙土 打	一口档
われがと	的記首する	要罰銅錢ケ	いかりなく	煙若	好了町	外國土 一塔	が土りか	日哉 為哈
巨州人	アルヤン	而且	儿ョ	說偷伴辣垣	かり以び	刮子才要收光	かってい	咾呢
第一条大学	形とス	何蠻多ケ	が中心ナヤ	派 頂	に好多	以光 吃	は対なか	官膏局丁規

おりる かりれいとやかど 板要先買子哩亇牌子 九
い
う
べ
オ がは方でマムやので 巨背局裏亇規矩 那末吶啍介 存につるこう とや対点と記 廢末就是無用丁哉 飞中州出山打七六 ればかひなでひばるれく外状 身浪還要替子 弗管耐哈人 コがたない 那末可以去挑 信中山く出口 好かなでなって 中外公可几 凤哩ケ 但 必

就曉得是爲子喫鴉片煙 外人中人、奴で切け好多 **小かかかりかれておる** 上列中山 **亇種閉**篩 丁公川れに八づかか 火マタマななせお 小下

総要責好幾倍得來
心要貴好幾倍得
交責好幾倍得
以好幾倍得
が幾倍得
た。後に、得る。
、一倍・乳・得・乳・
₹ 得き
、來き
前
潮
裏
藤
加加
L 喫
で、2年)=
た。とし
- 1
鋼 *
/ 錢
グーでも与された。クイ

話	进了	金盃	节	舊時	\t\ .m.			麢	燥醒
我	形	彼	37	有	く	勸	纵	東	
如	Ŧ	佢	灯	T	+	人	٠¿L	話	醒罷
米坦	外	/ E	ルラ	人	·〈L	罗克	イグ		
之	यों	都	71	好	4)	开心	4		
-	11	重	17	貪	供	足	孔		
只	£-,	唔	4	心	约				
码	私	心尼	幻北	耽	1	!			
我	J.	Æ	17	佢	リブ	! 			
就	·マ],	佢	中	有	くじ	i .		Ì	ļ
卽	97.	自	久		Z				
烈旗	すっ	E	リル	大 e	グー・ナト	}			
題	4	寒	4ブ	郑	ואינו				
鹏	栈	頭	4		∤ :	: 			
嘭	31	想	兀	Ħ	.2-			1	
%	环	严	43	生	红		} ? }		
	インス	佰	リオ		(m)				1
	我如果場左丁只鹅、我就即刻得晒船	我如果場左丁只鹅、我就即刻得晒啪嘭哈个双于水化水水化分 机以外加加加加大大大	我如果場左丁只鵝、我就即刻得晒ო嘭%个双于水化水水、大水水、水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	我如果場左丁只鵝、我就即刻得晒ო嘭响个。 双于水牝水状长私 双小灯灯灯灯灯纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸纸	我如果場左丁只鵝、我就即刻得晒ო嘭哈个双牙水机式机火机 机对外的比较大机 机对对的比较大机工机 电自己心裹頭想吓蛋彼佢 佢都重唔心足 佢自己心裹頭想吓時有丁人 好貪心嘅 佢有一只鵝 一日生一	我如果場左丁只鵝、我就即刻得晒ო嘭哈个时对巾 切別打以好找 切外切り的好好就不好的一个好好 切別的好好的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人	我如果場左丁只鵝、我就即刻得晒嘴嘭哈个地打竹 ザガカリが大 が リカカカ がいがかい 大気に で 一日 一日生 一地がり がりがれる からが で かいかい からない からから からがら からがら からがら からがら からがら からがら からが	我如果場左丁只鵝、我就即刻得晒嘴嘭哈个也们就是 但都重晤心足 但自己心裏頭想吓時有丁人 好貪心嘅 但有一只鵝 一日生一地们以 以外以外的大人 好食心嘅 但有一只鵝 一日生一人们以及以外的	我如果場左丁只鵝、我就即刻得晒ო影响个地がり ガガガルががかい おおおか がいがかいれれずれがいいがかりがりがいいがかりがある。 これがい おおおか に に に 一日生 一一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日

الالتناكية	September 1	A	314	刊行	17		1.1		Contract Con	
\$31 702	200		1	唔洗	14	海	ירע	金蛋啦	V	3
TI-	Action	1	41	一	4-	i		全	\ 1	
11	4-	人	·〈L	講	乜	點	27	啦	173	
只	} >	就	17	話	近,	知	步			
嘅	かかか	根	.ŧL	有	1/21	渞	机	佢	47	
只嘅金蛋都有略	V	錯	ΓŽ	有金蛋喺庶咯	节	知道个	11,	orth	妆	
定	**	錯啦	177	定	12	1 1	11	咁樣想完		
出来	3)	1214	闪	虫	44	只鵝	2-	傢	17	商与石雪
即	7 !	£150		T	+7	稱	**	想	兀	-7
月	办	穏	=7	思	1	肚	土	完	11	占
各	と	係	な	略	W	襄	・ナブ	·	•	-
	Ì	總係恨	. - }L		i	肚裏頭	圳	佢	中	
你	イブ	錯	51	部	7		2471	牯	3	<u>.</u>
地	20	都	ŦÌ	就係			1.2	就眞係走去	刘	
相	以	(III)	7	示人	叔	直	ラブ	具	36] •
想吓	兀	恨唔番	, 4r	金	ti	成	HLL	休	权	}
14	‡ 3	严	J.	糠	松	同	大1	走	7]	Ì
	<u> </u>	番	夫	都	升	第	北人	去	次	
	1-	咯	N	有	17)	的	Z	湯	47	3
^	*			有半	+1	滟	.Z\	差	71	, -
À	· /)	呢	, , •	_	14.		77.4	个	76	
		随	2)	心	1:0	檬	3	•	7 *	
10.7	, 1	严	74	粒嘅馬	177	(SK	16.7		2	*
力	下人	一	1	Am	大	嘅	・ヤー	揭	秘	-17
明	祺	連	·AL		, .	, ti	7	略	11	7

					一年にて、人口には、一日の日に、人口には、一日の日に、人口には、日本の日には、日本には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日
					1,111

~我中國天下誠可謂危急存亡之秋矣有識之士咸思 力故欲人人識字人人能受教育必不得之數也立憲之 能 及夏戛乎其難之中國文字奧博字多至於數萬通儒不 是則與學尚矣然而幅員萬里人民數百兆欲教育之普 乎人心偷薄則宜重道德然無義理之學無以興民行池 以言乎貧則宜講質業然無農工商學無以興利也以言 **普行**简字以廣教育議 所以救之以言乎弱則宜尚武事然無兵學無以練兵也 |至少必五七年始能粗通文理貧民子弟安得有此 編藏即目前 日用所需亦非數下字不足應用學童 矩齊所里 H

て義

ı

非 此 本乎學校亦由有假名以為之階也是故今日欲救申 將比里 乎歐美以二十六字母日本以五十假名括一 國 易識之字非用拼音之法不可前數年京師拼音官 可讀書閱報通知義理曉達時事英國百人中有九十餘 教育普及不可欲教育普及非有易識之字不可欲為 識字是以民智開通雄視字內日本字興識者皆知 必識字者乃得為公民中國鄉民有闔村無一人識字 或有一一 數十字明其拼音之法卽可執筆自達其口所欲言卽 連鄕無一 一識字之人適為其村敗類而良民轉不識字 人能及公民資格何以為立憲之憑藉 切文字識

7 7 1

諸江督建徳尚書設簡字學堂於金陵即以京師原譜為 報 俟南音學成再學京音以歸統一 其欣快幾無可名狀明效大驗彰彰可靚聞直督袁公奉 **育敕部立案兩年以來畢業多次給憑者數百人畢業者** 本而增加母韻訂為甯音失音各譜期合南音以便習學 千餘音包括京師語言一時風行學之極易性敏者數 轉相授受推行於江浙各屬通曉者甚夥素不識字之 而通即極鈍之資至遲數月無不解者乙巳嵗鄙人 女村氓 **祉定有官話字母以五十母十二** 口 養 能閱書報能作面札如盲者之忽爾 奏明奉 一韻四聲輾轉相拼 矩齋所學 能 陳 视

曾,趙公皆已推行於直隸奉天等省外人覘國者亦謂由

此入手普通教育進化必速然猶未能各省猵及其提倡

天下竊謂當訂為通國統一 乙方强迫之力猶未能一 律實施故尚未能普著成效於 全譜奏請

飭下 廷臣延攬深明古介韻學之儒通曉各省方言之十

詳加考核勒為定本進呈茶候 欽定並以此字編定各種淺近教科書請

旨頒行天下將初等小學五年學期分為兩級第 年兩

以漢文教授旣有此易識之字卽可實行强迫之令應合 學期專以此簡字教授一年畢業畢業後自第二年起乃

346

家長再別定極簡極易之法緒短功課為半年一學期畢 節字報館俾無人不獲閱報之益並預頒定制將來實行 **正憲之時除本識漢字者外其不識漢字而能識此簡字** 百用此字俾人人能曉如此則不待强迫爭願學習矣此 一可冀全國人民無不識字無不得受普通教育復廣設 ,傳習極易至多不過數月而可成以一人授五十人計 國人民凡及嵗者皆入此簡字之學一 體準作公民又勒定五年之後官府出告示批呈詞 /待極貧不能入學一年之民庶貧家子弟胥能就學 傳而五十人再傳而二千五百人三傳而十二萬五 年不學者罪其

夫野老婦人孺子人人能觀書人人能閱報兄人生當明 胥於是乎在所操者至約而所及者至廣似迂闊**而實切** 見皆能上陳而無所閒隔明白洞達磚海大同以此育民 之道義當知之世務皆能通曉彼此意所欲言皆能以筆 札相往復官府之命令皆能下達而無所舛誤人民之意 乙三年之 萬 似淺近而實閎遠謂非救時之要道哉竊不自量竭其 人四傳而六百二 何德不厚以此濬民智何智不開太平之基富强之本 人中國四萬萬人五六傳而可偏果以國家全力行 內可以通 HIL 一十五萬人五傳而三萬一千二百五 國無不識字之人將見山陬海滏田

之幸也勞乃宣謹議	朝命見諸施行海內民生之幸也勞乃宣英
	言路諸賢取以入告或蒙
得之愚訂爲簡字全譜一通錄而存之以待知者倘獲	一得之愚訂爲簡字全譜

